

○富山県生涯学習審議会条例

平成3年3月15日

富山県条例第1号

改正 平成12年12月20日条例第44号

富山県生涯学習審議会条例を公布する。

富山県生涯学習審議会条例

(設置)

第1条 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（平成2年法律第71号）第10条第1項の規定に基づき、富山県生涯学習審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(平12条例44・一部改正)

(組織)

第2条 審議会は、20人以内の委員で組織する。

2 委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が知事の意見を聴いて任命する。

3 委員の任期は、2年とし、その欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(幹事)

第5条 審議会に幹事を置く。

2 幹事は、関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

3 幹事は、審議会の所掌事務について、委員を補佐する。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(細則)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成3年4月1日から施行する。

附 則 (平成12年条例第44号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成13年1月6日から施行する。

## 第12期富山県生涯学習審議会委員名簿（五十音順）

氏名	役職	
明石 要一	千葉敬愛短期大学学長 千葉大学名誉教授 中央教育審議会委員・生涯学習分科会長	欠席
麻畑 秋市	日本ボーイスカウト富山県連盟事務局長	
荒井 克博	富山県民生涯学習カレッジ学長	
磯野くに子	富山県生涯スポーツ協議会副会長	
伊藤 通子	NPO法人 ESD-J (持続可能な開発のための教育の 10年推進会議)	欠席
稲葉 実	富山県専修学校各種学校連合会副理事長	
尾谷 康弘	富山県労働者福祉事業協会理事長	
経田 博子	フリーアナウンサー 富山県民生涯学習カレッジ自遊塾県民教授	
小路みつ子	富山県婦人会副会長	
瀬戸 健治	富山県生涯学習団体協議会副会長	
勢藤 和弘	北日本新聞社事業局長・文化センター長	
舘野 智子	公募委員	
長島 潔	魚津市教育長	欠席
中西 彰	富山県公民館連合会会長	
服部 征雄	放送大学富山学習センター所長	
藤田公仁子	富山大学地域連携推進機構生涯学習副部門長	
毛利 一朗	富山経済同友会教育問題委員会副委員長	
藪 道子	富山県PTA連合会副会長	
山下 智子	公募委員	
和田 朝子	富山県芸術文化協会副会長	

(委員数:20名 任期:平成26年11月1日~平成28年10月31日)

## 改正教育基本法 生涯学習の理念

教育基本法は平成18年12月に改正されており、生涯学習の理念がはじめて明記されることとなった。

### ○生涯学習の理念（第3条）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

### ○家庭教育（第10条）

父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

### ○社会教育（第12条）

個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

### ○学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力（第13条）

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

## 答申の主なポイント

社会の変化に対応した  
総合的な知の必要性

地域の社会構造の変化

### 教育基本法の改正

「生涯学習の理念」(第3条)、「家庭教育」(第10条)、  
「社会教育」(第12条)、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」(第13条)

新しい時代に対応した自立した個人や地域社会の形成に向けた  
生涯学習振興・社会教育の必要性・重要性

学習成果の活用

国民一人一人の生涯を通じた  
学習への支援

個人の要望 + 社会の要請

- 変化に対応し、社会を生き抜く力  
（「生きる力」等）の育成  
－学校外の活動プログラムの検討の充実
- 多様な学習機会、再チャレンジ可能な  
環境の整備、相談体制の充実  
－生涯学習プラットフォームの形成
- 学習成果の評価の通用性向上  
－検定試験の質保証の仕組みの検討 等

「知の循環型社会」の構築

社会全体の教育力の向上

学校 + 家庭 + 地域

～地域の課題・目標の共有化～

- 身近な地域における家庭教育支援  
－きめ細かな学習機会・情報の提供、相談対応
- 学校を拠点に地域ぐるみで子どもの  
教育を行う環境づくり  
－学校支援の仕組みづくり、放課後の居場所づくり
- 社会教育施設等のネットワーク化  
－公民館、図書館、博物館等の活用
- 大学等との連携 等

新たな学習の需要

## 新たな施策

### <制度>

#### ○社会教育関係三法の改正

- ・教育委員会の新たな役割の明確化（学校支援活動や家庭教育支援等）
- ・司書及び学芸員等の資格要件の見直しと研修の充実 等

### <事業による仕組みづくり>

#### ○地域ぐるみで子どもの教育を行う環境づくり

- ・放課後子どもプラン、学校支援地域本部事業の推進

#### ○学習成果の評価の仕組みづくり

- ・民間事業者が行う検定試験等に関する評価の客観性や質を担保する新たな仕組みづくり 等

第1章 今後の社会教育行政等の推進の在り方について

今後、社会教育行政は、社会のあらゆる場で地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習等が活発に行われるよう環境を醸成する役割を一層果たしていくことが必要。このため、これまでの「自前主義」から脱却し、首長部局・大学等・民間団体・企業等とも自ら積極的・効果的な連携を仕掛け、地域住民も一体となって協働して取組を進めていく、ネットワーク型行政の推進を通じて社会教育行政の再構築を行っていくことが必要。

1. 社会の変化の中で求められるもの

- 個人の自立(人づくり)に向けた学習
  - 学習の機会が得られ、学習を継続でき、学習成果を社会生活や職業生活に生かすことができる生涯学習社会の実現
- 継つくり(社会関係資本の構築)・地域づくりに向けた体制づくり
  - 人材の育成・確保(コア・タレント・フアンシリテーター)、集う場の確保、ネットワークの構築

2. 社会教育の役割

- 地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習等を通じて、人々の教養の向上、健康の増進等を図り、人と人の絆を強くする
- 地域住民の自立に向けた意識(自助)を高め、協働による地域づくりの実践(「互助」「共助」)に結びつけていく
- 社会教育行政は、こうした社会教育が活発に行われるよう環境を醸成

○近年の社会教育の成果

- 学校教育との連携・協働による地域コミュニティの形成
- 家庭教育における学習機会の提供と地域人材の育成
- 生涯学習社会の構築に向けた寄与(多様な学習機会の提供等)

○社会教育行政が抱える課題

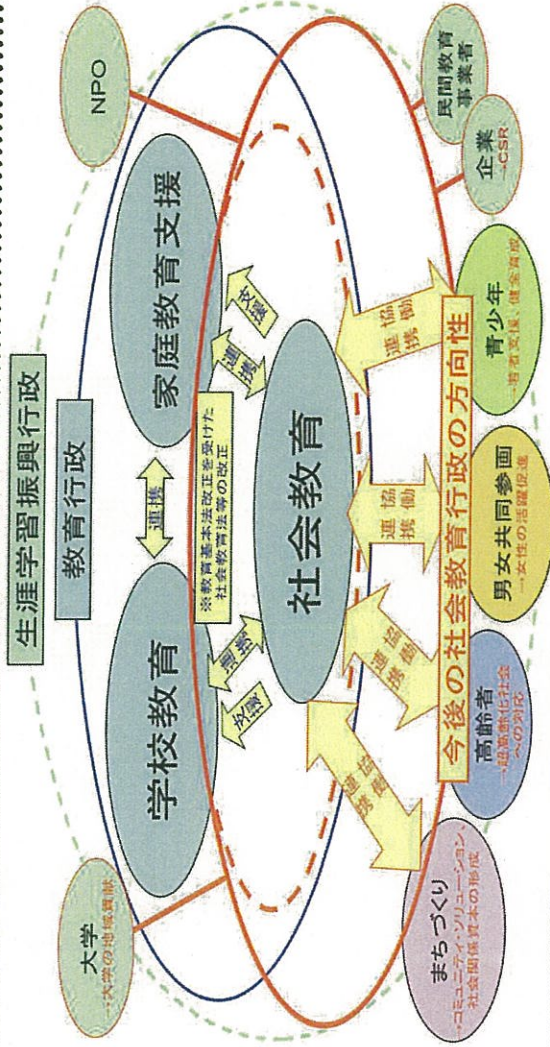
- 地域コミュニティの変質への対応(コミュニティ再生への対応が不十分)
- 多様な主体による社会教育事業の展開への対応(様々な課題への対応が不十分)
- 社会教育の専門的職員の役割の変化への対応(社会教育主事減少による十分な活動が困難)

3. 今後の社会教育行政の取組の方向性～「社会教育行政の再構築」～

- 首長部局・大学等・民間団体・企業等との連携・協働の推進(ネットワーク型行政の推進等)
  - 地域社会を担う人材の育成(地域人材の育成・確保、専門的職員の資質向上等)
- 〈国の役割〉
- 先進的取組の支援・制度改善、社会教育主事の養成・配置や資格の在り方の総合的検討等

4. 生涯学習振興行政の調和・統合機能の強化

- 学習活動の全体を俯瞰し、調整して、生涯学習振興の基本的方針等を提示
  - 学習情報の提供や相談体制の整備、啓発活動、学習の成果を生かす場や評価のための仕組みの構築
- 〈国の役割〉
- 今後の生涯学習振興の基本的な方針等を示し普及、実態把握・調査研究、学習の質の保証、啓発、学習成果の評価・活用の推進等)



参考データ

- 約6,000万人の学習者(世帯調査から推定)
    - 大学・専修学校等で学ぶ社会人 約30万人
    - 公民館、生涯学習センター等の講座の自治体主催の受講者数 約2,800万人
    - カルチャーセンター、スポーツクラブ、外国語教室、音楽教室等の民間の講座の受講者数 約1,000万人
    - 検定試験受験者数 約1,080万人
  - 社会教育施設は約9万施設、社会教育施設利用者は約13億人(年間のべ数)
    - 公民館 約15,000施設 約1.9億人
    - 図書館 約3,300施設 約1.8億人
    - 博物館 約5,800施設 約2.7億人
    - 青少年教育施設 約1,100施設 約0.2億人
    - 女性教育施設 約400施設 約0.1億人
    - 社会・民間体育施設 約63,000施設 約6億人
    - 等
  - のべ 約800万人の行政職員や地域住民等が生涯学習・社会教育を推進
    - ・社会教育関係職員は約52万人
    - 社会教育主事 約2,500人
    - 公民館職員(うち公民館主事) 約4.9万人(約1.4万人)
    - 図書館職員(うち司書) 約3.6万人(約1.7万人)
    - 博物館職員(うち学芸員) 約2万人(約0.4万人) 等
    - ・多様な人材がボランティア等で様々な活動に参加・協力
      - 学校支援・放課後子ども教室等の活動に参画した地域住民等の数のべ約647万人
      - 社会教育施設登録ボランティア 約51万人(公民館 約19万人 図書館 約9万人 博物館 約3万人 等)
      - 社会教育委員 約2万人 等
- [ 生涯学習に関する世論調査(平成24年度)、学校基本調査(平成24年度)、社会教育調査(平成20年度)、社会教育調査(平成23年度中間報告) 特定サーベイス産業実態調査(平成22年度)、検定試験に関する実態調査(平成20年度)、文部科学省調べ(平成23年度) ]

○具体的方策の実施期間

以下の1.～5.の柱に基づく具体的方策を第2期教育振興基本計画の実施期間(平成25年度から29年度まで)の中で着実に実施・推進

1. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習活動や体制づくりの推進

(1) 社会全体で子どもたちの活動を支援する取組の推進

◆ 学校支援地域本部等、学校と地域が連携・協働する体制を全国全ての小・中学校校区に構築

(2) 学びの場を核にした地域コミュニティの形成の推進

◆ 公民館等社会教育施設を核とした地域コミュニティの形成の取組の支援  
 ◆ 学校と社会教育施設の複合化

(3) 地域社会と共生する大学等の高等教育機関づくりの推進

◆ 大学等の生涯学習機能強化に向けた取組の推進

(4) 豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実

◆ 「家庭教育支援チーム」型の支援 ◆ 親の育ちを応援する学びの機会の充実

2. 現代的・社会的課題に対応した学習機会及びライフステージに応じた学習機会の充実

(1) 現代的・社会的課題に対応した学習の推進

◆ 男女共同参画、人権、環境保全、消費者問題、地域防災・安全、ESD等に関する学習の推進  
 ◆ 公民館等の先進的な取組の支援

(2) ライフステージに応じた学習機会の充実

◆ 専修学校等における単位制・通信制の導入など社会人等が学びやすい学習・評価システムの構築  
 ◆ 職業実践的な教育に特化した新たな枠組みの先導的試行など段階的实施  
 ◆ 目立った高齢期を送るための学習機会の充実

(3) 学習機会の確保のための環境整備

◆ ICTを活用した学習(eラーニング)の推進 ◆ 放送大学における科目・公開講演会の充実

3. 社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への学習機会の充実

(1) 子ども・若者への学習支援

◆ 高等学校卒業程度認定試験等を含む学び直しの機会の提供  
 ◆ 公民館・青少年教育施設等で子ども・若者の居場所を提供し、支援する体制の構築

(2) 成人への学習支援

◆ アウトリーチを重視した家庭教育支援の推進  
 ◆ 早期離職者等への職業教育・職業訓練の推進

4. 学習の質保証・向上と学習成果の評価・活用の推進

(1) 多様な主体が提供する学習機会の質の保証・向上の推進

◆ 民間教育事業者における評価・情報公開の仕組みの構築の推進  
 ◆ 文科省認定社会通信教育制度の見直し ◆ 専修学校の教育の質の保証

(2) 学習活動の成果の評価・活用の推進

◆ 学習成果を評価する手法の検討 ◆ 検定試験の質の向上  
 ◆ 人材認証制度等の仕組みや認証の共通枠組みの構築の検討

(3) キャリア形成のための新たな学習・評価システムの構築に向けた基盤の整備

◆ EU、豪州、韓国等の資格枠組みの動向等を踏まえ、我が国の実情にあったシステムの在り方の調査研究  
 ◆ 産学官連携のコンソーシアムにおける能力評価基準や教育プログラムの開発の推進

(4) ICTを活用した学習の質の保証・向上、学習成果の評価・活用の推進

◆ デジタルコンテンツの質保証・向上の仕組み構築  
 ◆ eポートフォリオ・eパスポートの取組支援

5. 生涯学習・社会教育の推進を支える基盤の整備

(1) 様々な主体との連携・協働を進めるための社会教育行政の体制の確立

◆ 地方公共団体が、様々な主体との連携・協働を円滑に構築できるようにするためのモデル事業や環境整備の実施

(2) 地域の学びを支える人材の育成・活用の推進

◆ 社会教育主事等の役割や配置の見直し、資質・能力向上の検討  
 ◆ 地域人材を含む社会教育に関わる人材全体の在り方の検討

(3) 社会教育施設の運営の質の向上

◆ 自己評価・情報公開の推進 ◆ ICTの利活用の推進

(4) 生涯学習・社会教育分野における調査・研究の推進

◆ 「学び」に関する意識調査の実施 ◆ 国際成人力調査「PIAAC」による国際比較の結果の分析  
 ◆ 成果目標・成果指標等の研究の推進

(5) 生涯学習・社会教育の活動を支えるための民間資金等の有効活用

◆ 生涯学習・社会教育団体への寄附税制の周知等

○第7期の課題

◆ 専門的職員や地域人材の在り方 ◆ 成果目標・成果指標の設定

◆ 学習者の学習成果の評価・活用のための仕組みの構築 ◆ キャリア形成のための新たな学習・評価システムの構築 等

報告事項資料 本県の生涯学習施策の概要等について

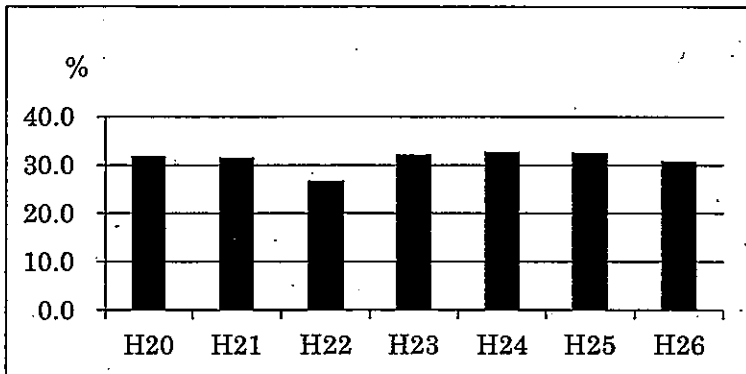
富山県教育振興基本計画 基本施策VI 生涯をととした学びの推進

**基本施策の目標**  
 すべての世代の県民が、それぞれの目的、ニーズや社会の新たな課題に応じて、自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができること。

〔施策に関する指標〕

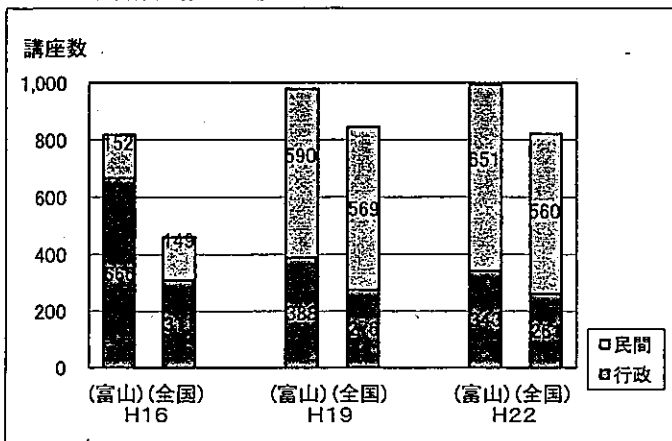
指 標	概ね5年前	基準年度	現況	目標	
				H29年度	H34年度
1年間に生涯学習を行ったことがある人の割合 <small>県政世論調査において「過去1年間に文化・スポーツや趣味・教養などの学習活動を行ったことがある」と答える人の割合                      資料：県政世論調査</small>	31.9% (H20)	32.8% (H24)	30.9% (H26)	36%	39%
<目標設定の考え方> 団塊の世代の地域活動への参加、民間事業者等の開設講座数の増加、インターネット等による在宅講座の普及により、生涯学習に取り組む県民の増加を見込み、概ね4割を目指す。					
生涯学習の人口10万人当たり年間開催講座数(うち民間講座数) <small>県・市町村、民間などによる生涯学習講座の1年間における開催講座数(人口10万人当りに換算)                      資料：文部科学省「社会教育調査」(3年に1度)</small>	—	978講座 (590講座) (H19)	994講座 (651講座) (H22)	1,100講座 (700講座)	1,200講座 (800講座)
<目標設定の考え方> 県民の学習ニーズの拡大、多様化、高度化に対応し、民間講座数が引き続き伸びるものと見込む。					

1年間に生涯学習を行ったことがある人の割合



生涯学習を行ったことがある人の割合は、平成22年度に一度26.8%に減少したが、23年度からは30%以上で推移している。

生涯学習講座数の推移



本県の生涯学習の人口10万人当たり年間開催講座数は、平成19年度から22年度にかけて少し増加した。特に民間の講座数の増加が著しい。

(文部科学省による次期調査はH26)

**基本施策の目標**

子どもたちが、虐待・いじめなどの人権侵害を受けることなく、健やかに成長するとともに、学校・家族・地域の連携・協力のもと、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育んでいること。

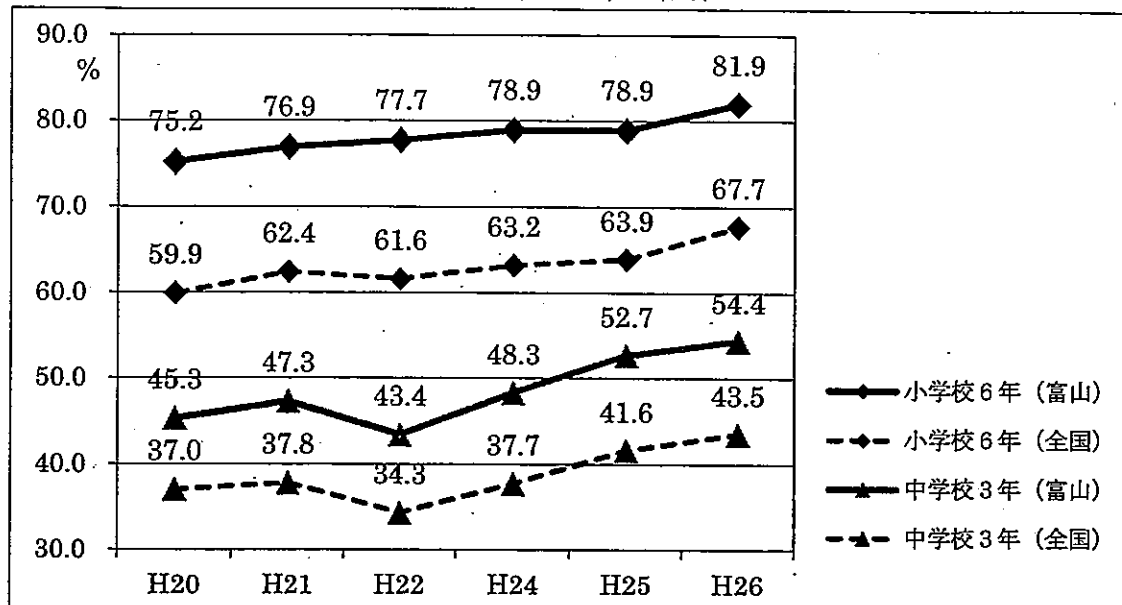
(1) 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実

[施策に関する指標]

指 標	概ね5年前	基準年度	現況 (H26)	目標	
				H29年度	H34年度
子どもの地域活動体験率 今住んでいる地域の行事に参加する小学校6年生、中学校3年生の調査対象者全体に対する割合 資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小75.2% 中45.3% (H20)	小78.9% 中48.3% (H24)	小81.9% 中54.4%	小 79% 中 49% 以上	小 79% 中 49% 以上
<目標設定の考え方> 今後さらに体験率が高まるよう働きかけることにより、現況以上となることを目指す。					
放課後子ども教室等を実施している小学校区の割合 県内全小学校区のうち、放課後子ども教室、放課後児童クラブ、とやまっ子さんさん広場のいずれかを実施している小学校区の割合 資料：生涯学習・文化財室調べ	87.8% (H18)	99.0% (H24)	99.5%	99% 以上	99% 以上
<目標設定の考え方> へき地・小規模校を除く全小学校区での実施を目指す。					

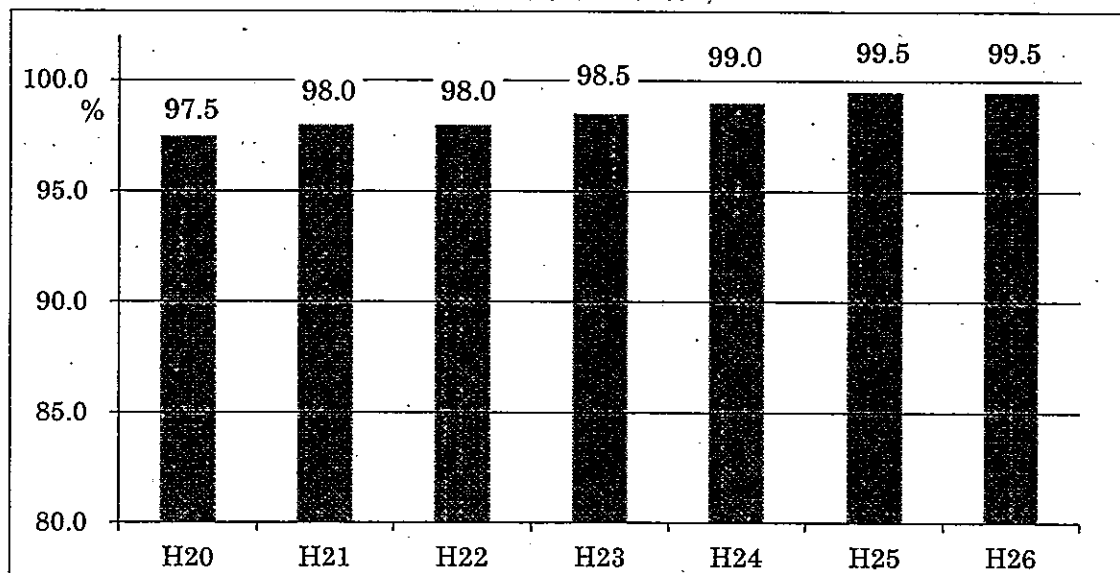


今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合



地域の行事に参加している児童生徒の割合は、全国に比べて高く、年々増加している。

放課後子ども教室等を実施している小学校区の割合



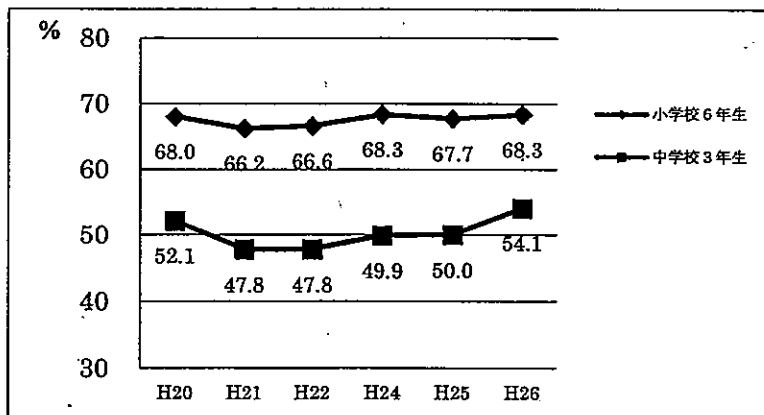
地域住民等の参画により、放課後子ども教室等を実施している小学校区の割合は、99.5%と高く、地域ぐるみで子どもを見守り育てる取組みは広まり、定着しつつある。

## (2) 家庭の教育力の向上

### [施策に関する指標]

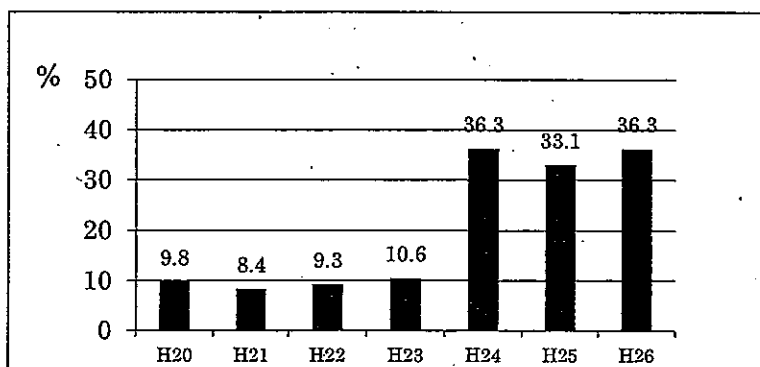
指 標	概ね5年前 H20年度	基準年度	現況 (H26)	目標	
				H29年度	H34年度
家や図書館で1日10分以上読書する児童生徒の割合 普段(月～金曜日)家や図書館で1日当たり10分以上読書する小学校6年生、中学校3年生の調査対象者全体に対する割合 資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小68.0% 中52.1%	小68.3% 中49.9% (H24)	小68.3% 中54.1%	増加させる	増加させる
<目標設定の考え方> 学校では始業前の朝読書や読書指導を充実させており、家庭等においても自ら読書するようになることを目指す。					
子どもの教育において、家庭が役割を果たしていると思う人の割合 県政世論調査において、「最近の家庭は子どもの教育において役割を果たしている」と答える人の割合 資料：県政世論調査	(9.8%)	36.3% (H24)	36.3%	増加させる	増加させる
<目標設定の考え方> 県民の意識に関わる数値のため、具体的な数値目標の設定が困難であることから、「役割を果たしていると思う県民の割合の増加」を目標とする。					

家や図書館で1日10分以上読書する児童生徒の割合



平成24年度まで小・中学校とも微増傾向にあったが、中学校の割合は依然として五割程度であり、学校では始業前の朝読書や読書指導に取り組んでいる。

「子どもの教育において、家庭が役割を果たしている」と思う人の割合



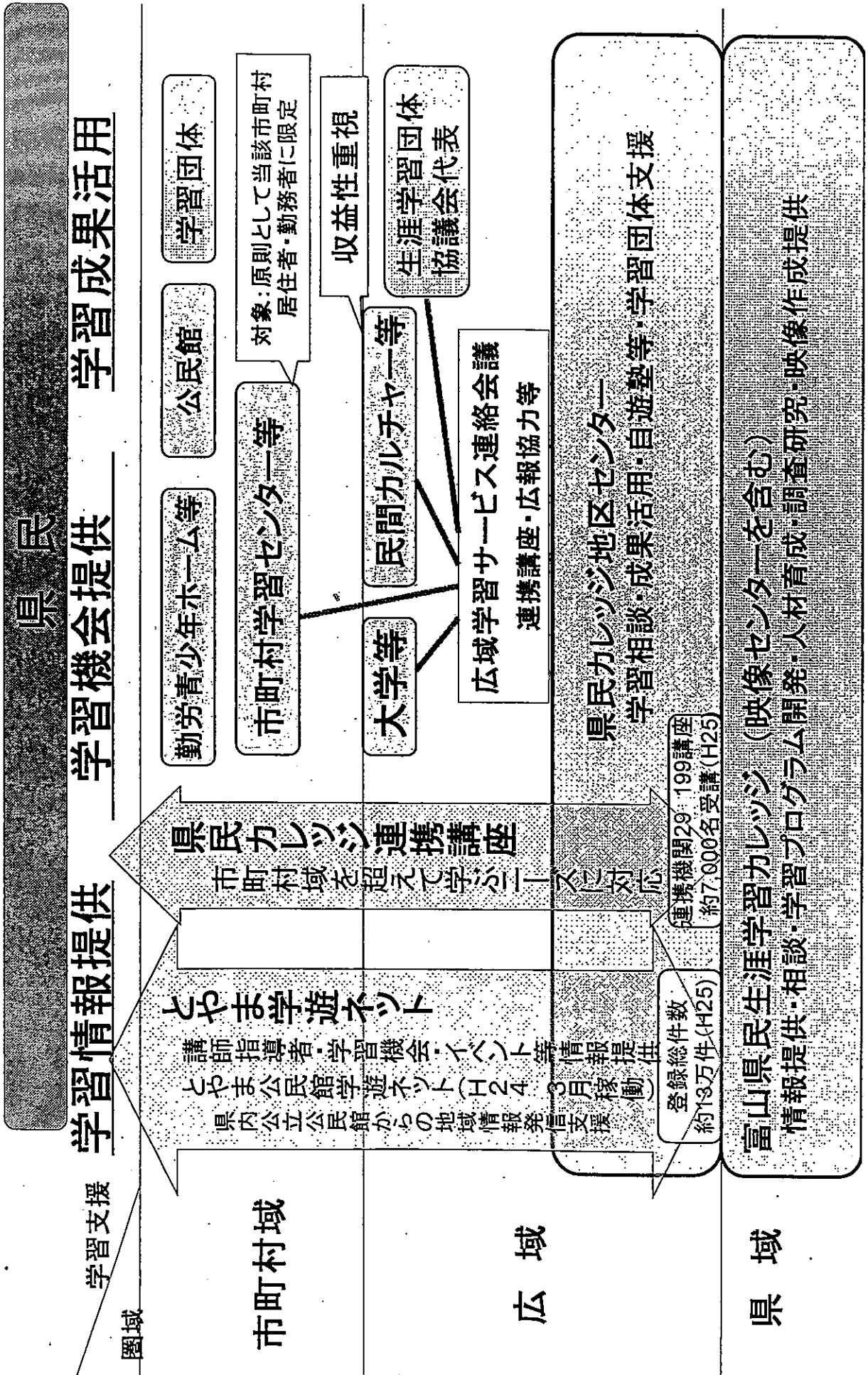
「子どもの教育において家庭が役割を果たしている」と思う人の割合は平成21年度まで年々減少していたが、家庭教育支援の事業の充実等により、平成22年度以降は増加傾向である。

※H23年度までは「果たしている」と回答した割合

H24年度以降は「十分に果たしている」「ある程度果たしている」と回答した割合

生涯学習の推進：生涯学習支援施設の利用向上のための方策について

# 県民の生涯学習への支援 県民カレッジ等の役割 (あらまし)



県民生涯学習カレッジ 主な講座の受講者数の推移

No	年 度		平成 21		平成 22		平成 23		平成 24		平成 25	
	講 座 名		講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
1	夏季講座		1	600	1	612	1	517	1	284	1	284
2	ふるさと 発見講座	人間探究コース※1	8	400	8	412	8	443	8	387	8	397
		教養・実践コース※2	15	433	16	390	17	521	18	374	18	364
3	ふるさと文化探究講座										1	52
4	高志の国文学入門講座										1	466
	高志の国文 学専門講座	探究コース※3							1	72	1	45
		活用・実践コース									1	18
5	共学講座※4		131	1,119	126	1,055	129	1,168	130	1,083	124	965
6	映像制作講座		9	88	9	87	9	84	5	67	6	76
7	ふるさと指導者セミナー ※5		1	11	1	30	1	10	1	11		
8	県民カレッジ自遊塾		58	893	56	863	56	949	58	941	65	1,134
9	学習団体講座		6	635	6	655	6	614	6	647	5	628
10	学校開放講座		6	143	6	110	5	86	5	54		
小 計			235	4,322	229	4,214	232	4,466	233	3,920	231	4,429
11	連携講座	実施機関数	26		25		30		26		29	
		講座数・受講者数	150	5,130	165	6,227	198	8,249	206	5,782	199	6,860
合 計			385	9,452	394	10,480	430	12,380	439	9,702	430	11,289

※1 平成21年度は「人間探究講座」

※2 平成21年度は「センター講座」

※3 平成24年度は「高志の国文学探究講座」 ※4 平成21年度～24年度は「特別講座」

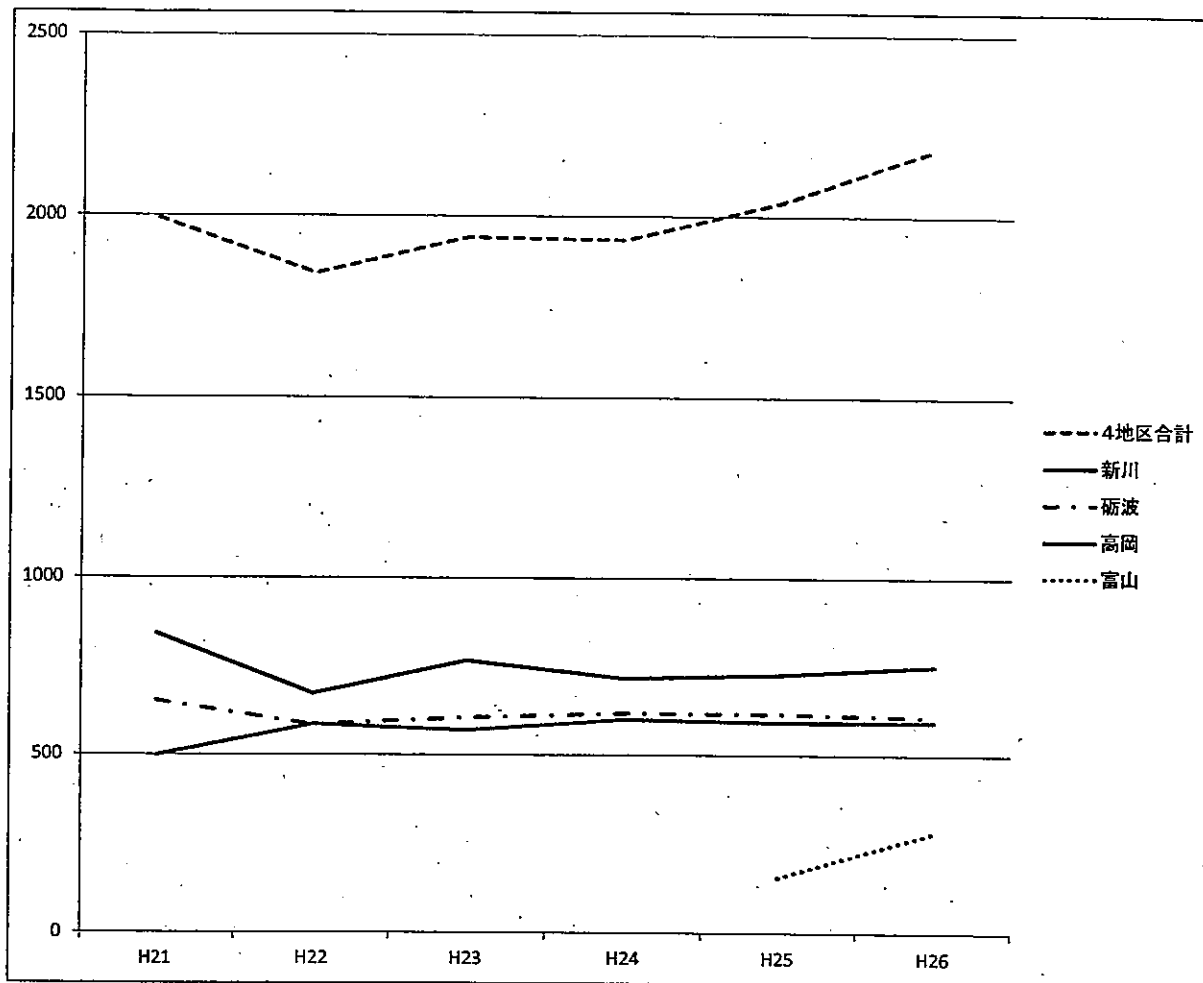
※5 平成21年度は「はつらつ学びのリーダー育成セミナー」

平成25年度 県民生涯学習カレッジ 連携講座実施状況

	実施機関数	実施講座数	受講者数
高等教育機関	8	121	2,534
公的機関(国・県)	10	23	2,392
市町村・市町村機関	8	52	1,809
民間	3	3	125
合 計	29	199	6,860
高等教育機関	富山大学地域連携推進機構、職藝学院、富山国際大学、富山短期大学、富山大学極東地域研究センター、放送大学富山学習センター、高岡法科大学、富山県立大学		
公的機関(国・県)	富山県南米協会、とやま国際センター、富山県埋蔵文化財センター、富山県公文書館、富山県社会福祉協議会、国際日本海政策課・日本海学推進機構、高志の国文学館、富山県婦人会、教育企画課、立山カルデラ砂防博物館		
市町村・市町村機関	公益財団法人砺波市花と緑の財団、南砺市園芸植物園、高岡市教育委員会(福岡教育行政センター)、財団法人砺波市花と緑の財団(委託分)、高岡市万葉歴史館、滑川市中央公民館、滑川市教育委員会、黒部市民病院		
民間	雷鳥会、富山インターネット市民塾推進協議会、富山地区生涯学習団体協議会		

県民生涯学習カレッジ 地区センター別受講者数の推移

(単位:人)

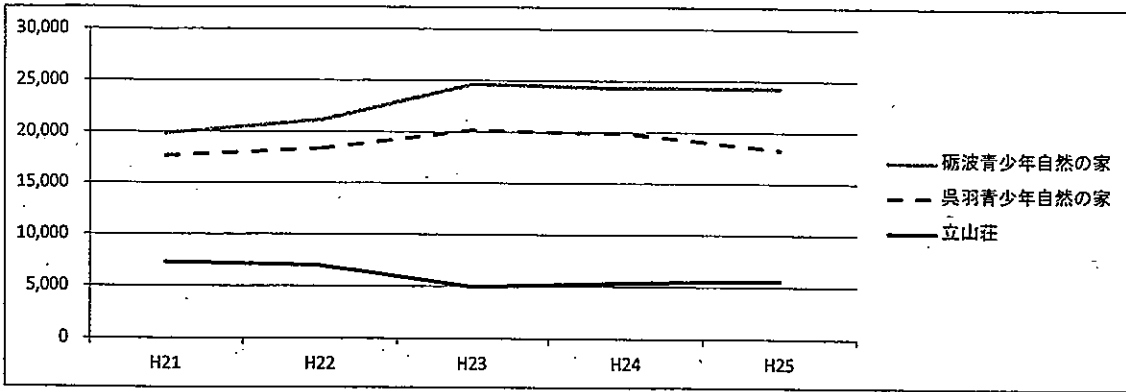


県民生涯学習カレッジ 地区センター別講座数の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
新川	54	52	54	55	53	54
高岡	41	42	47	48	45	42
砺波	49	47	46	45	42	42
富山				(H25開所)	29	38
4地区合計	144	141	147	148	169	176

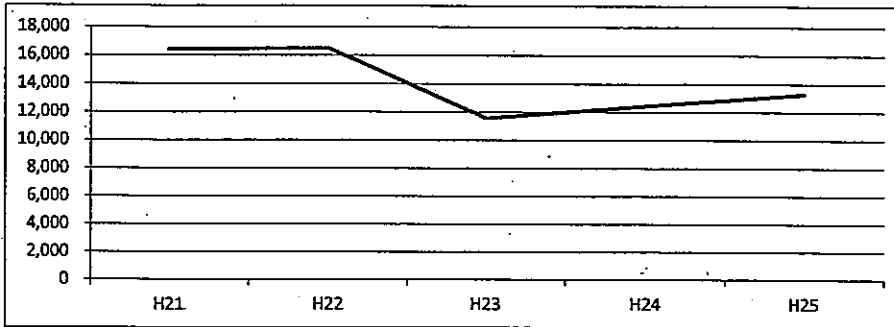
県青少年自然の家等青少年教育施設の利用者数

(単位:人)

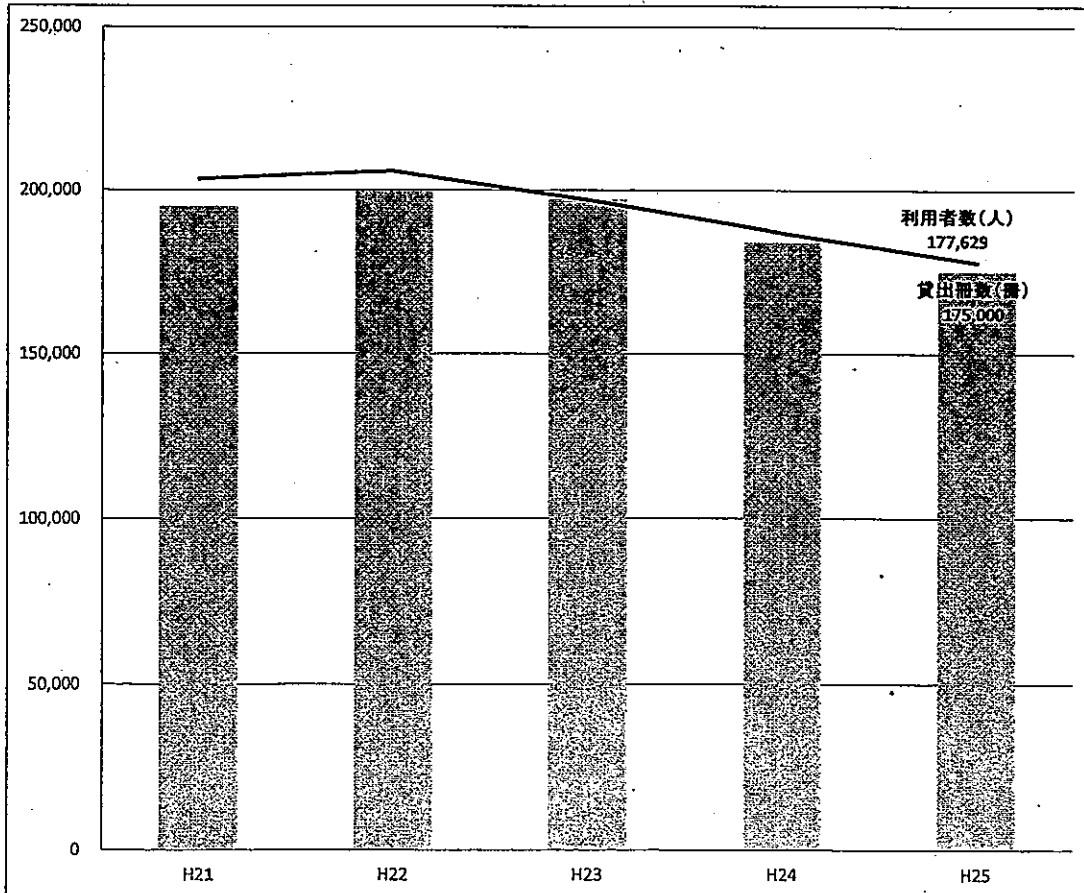


県埋蔵文化財センターの利用者数

(単位:人)



県立図書館の利用者数及び図書貸出冊数



# 平成26年度 県民カレッジ 富山大学との連携講座一覧

※ 公開講座は前・後期計73講座(参考:H26受講者約650名)

オープンクラス(大学の授業を社会人に公開)は前・後期計約800講座

富山県民生涯学習カレッジ

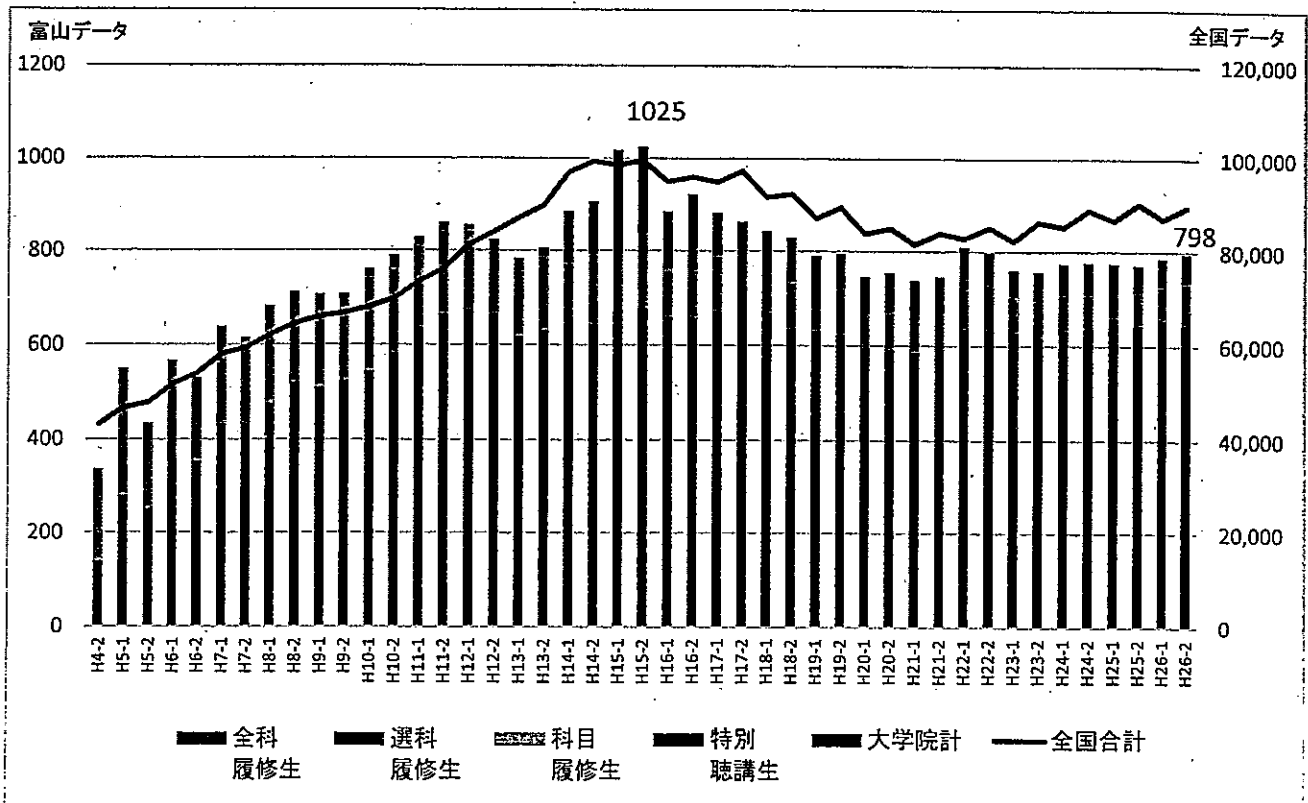
主催者	種類	講座	開催期間	単位数	会場	定員	対象
富山大学 地域連携 推進機構 生涯学習 部門	前期 公開講座	とやま学一近世富山の史料を読む(前期)	平成26年4月7日(月)~7月28日(月)	10	富山大学人間発達科学部 2棟3階 ワークスペース	13	市民一般
		身近に広がる美術の世界	平成26年4月15日(火)~8月5日(火)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第3学習室	16	市民一般
		実体板名を学んで、昔の書物に親しもう	平成26年4月16日(水)~7月23日(水)	10	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第3学習室	15	一般市民で、実体板名を 学びたい方
		MBA経営管理実践講座	平成26年4月23日(水)~7月9日(水)	30	富山大学経済学部 教育 附属棟	5	社会人経験5年以上の企 業にお勤めの方
		こころの中の意識と無意識	平成26年4月26日(土)~7月26日(土)	10	富山大学人間発達科学部 1棟1階 112講義室	30	市民一般
		パルザック『あら皮』をフランス語で読む	平成26年5月8日(木)~7月31日(木)	15	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第3学習室	12	初級から中級程度のフ ランス語の理解力をお持ち の市民の方
		アンニョンハセヨ 韓国いろいろ話ろう(前期)	平成26年5月9日(金)~9月26日(金)	5	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第1学習室	14	市民一般
		数と図形の楽しみ	平成26年5月10日(土)~5月31日(土)	5	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第3学習室	15	市民一般
		アンニョンハセヨで韓国を知ろう①(前期)	平成26年5月10日(土)~9月27日(土)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第1学習室	14	市民一般
		アンニョンハセヨで韓国を知ろう②(前期)	平成26年5月12日(月)~9月29日(月)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第1学習室	14	市民一般
		英語ディスカッションを通じたコンパニオン カフェ #5 (午後クラス)	平成26年4月3日(木)~7月31日(木)	10	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第4学習室	12	中級レベル以上の市民一 般
		新編 羊島の手紙と語彙(入門)	平成26年4月16日(水)~7月9日(水)	20	富山大学共通教育棟 日棟 3階 B35講義室	25	市民一般
		ロシア語(初級・中級)(前期)	平成26年4月10日(水)~7月10日(水)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第3学習室	10	入門のロシア語を学んだ 方
		中国語講座(会話中心の中級クラス)(前期)	平成26年4月12日(土)~7月26日(土)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第2学習室	16	市民一般
		中国語さらなる一歩(会話中心の中国語中 級・中級クラス)(前期)	平成26年4月14日(月)~7月28日(月)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第2学習室	16	市民一般
		韓国語によるスピーチ(中級)	平成26年4月15日(火)~7月22日(火)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第2学習室	10	市民一般
		英語で料理を楽しもう！(午後クラス)	平成26年4月16日(水)~7月30日(水)	10	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第2学習室	12	中級レベル以上の市民一 般
		中国語初級会話(前期)	平成26年4月16日(水)~7月16日(水)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第2学習室	16	市民一般
		中級フランス語7	平成26年4月26日(土)~7月26日(土)	20	富山大学共通教育棟 日棟 3階 B35講義室	25	前年度中級フランス語5 を修了された方、または 初級程度のフランス語を 習得された方
		入門フランス語フランス文化3	平成26年4月26日(土)~7月26日(土)	20	富山大学共通教育棟 日棟 3階 B35講義室	25	前年度入門フランス語フ ランス文化2を修了された 方、またはフランス語を 習得された方
		初級フランス語5	平成26年4月26日(土)~7月26日(土)	20	富山大学共通教育棟 日棟 3階 B35講義室	25	前年度初級フランス語4 を修了された方、または 初級フランス語を習得した 方
		Cours de français (Niveau moyen)	平成26年5月13日(火)~7月15日(火)	15	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第2学習室	12	中級程度のフランス語力 をお持ちの市民の方
		アンニョンハセヨ 韓国語中級1	平成26年5月13日(火)~9月30日(火)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第1学習室	14	市民一般
		アンニョンハセヨ 韓国語中級ステップアップ1	平成26年5月14日(水)~9月24日(水)	20	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第1学習室	14	市民一般
		レベルアップしよう！特別英語コンパニオン カフェ #5 「幸福/Happiness」について~ (日中クラス)	平成26年8月20日(水)~9月4日(木)	10	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第4学習室	12	中級レベル以上の市民一 般
		家庭菜園入門	平成26年4月3日(木)~10月30日(木)	25	富山大学人間発達科学部 附属農場(富山市花園町4 丁目) 15号	14	家庭菜園初心者(見学不可)
		入門ピラティス #5 (日中クラス)	平成26年4月10日(木)~7月24日(木)	15	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第1学習室	6	健康に良いと評判を呼んでいる 市民一般、平成25~26年度に習 得した市民向けに体験講座 (15分程度)
		ドイツ歌曲を歌おう！(その1)	平成26年4月26日(土)~8月2日(土)	15	富山大学共通教育棟 C2 2号教室	40	市民一般
		ほき手を動かす画期的なプレゼンテーションに 挑戦してみよう！	平成26年5月8日(木)~5月27日(火)	20	富山大学総合情報基盤セ ンター 1階 会議室	8	授業で画期的なプレゼンテー ションを試みたい市民の方
		ワープロと表計算ソフトの基礎 -Windows7で Word&Excelを利用してみよう- (前期)	平成26年6月2日(月)~7月1日(火)	20	富山大学共通教育棟 A棟 4階 教養実習棟	15	これからワープロ・表計算ソフト を使いこなしたい市民の方
		jQueryを使ってJavaScriptプログラミングを楽 しもう！	平成26年6月5日(木)~6月20日(金)	20	富山大学総合情報基盤セ ンター 3階 第3実習室	14	Webサイトによるコンテンツ作成 に興味がある市民の方
		平成26年度ムーブメント遊びを通して学ぶソ シヤルスキル教室	平成26年6月15日(日)~12月7日(日)	10	上市町つるぎふれあい館	12	年長~小学校2年生まで の子どもと保護者
		ゴルフ(初級者)コース	平成26年8月7日(木)~8月22日(金)	15	びんごゴルフクラブ (8/7(木)8/18(木)~8/22(金))	20	市民一般
入門ピラティス #5 (夜のクラス)	平成26年8月20日(水)~9月4日(木)	10	富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門 第1学習室	6	健康に關心と興味を持つ ている市民一般、平成25 ~26年度に習得した市民 の方		
iPadで広がるあなたの ITライフ	平成26年8月29日(金)~9月20日(土)	10	富山大学人間発達科学部 3棟5階 メディア・デザイン 室	15	市民一般(パソコン初級 者)		
要介護者スード制作	平成26年4月16日(水)~7月30日(水)	30	富山大学高岡キャンパス 形成室	12	市民一般		
漆と親しむ一歩でつくるアクセサリ	平成26年4月22日(火)~6月6日(金)	25	富山大学高岡キャンパス H182	15	市民一般		
高齢者のための夏外家具の設計・制作	平成26年6月3日(火)~6月29日(日)	20	富山大学高岡キャンパス コンピュータ演習室(C-22 3)、共通実習室(D-133)	6	60歳以上の高齢者		
精密鑄造技法で作る小物	平成26年8月3日(日)~9月7日(日)	25	富山大学高岡キャンパス 実習室142、精密鑄造室、 金工室	7	高校生以上		
放射線と環境	平成26年9月6日(土)~11月8日(土)	10	富山大学五箇キャンパス 生涯学習部門 第1学習室	20	市民一般		
コンピュータで学ぶ化学・生物 -Rubyによるプ ログラミング実習-	平成26年4月19日(土)~5月31日(土)	15	富山大学杉谷キャンパス 農産物実科棟3F 会議 室	10	市民一般		
美しい薬用植物の育て方・癒やし方 中級編	平成26年4月19日(土)~10月25日(土)	10	富山大学杉谷キャンパス 実習棟附属薬用植物園	15	植物の栽培に興味のある 方		
富山大学 地域連携 推進機構 生涯学習 部門	前期 オープン クラス	平成26年度前期富山大学オープンク ラス	4/10~7/29	時間数に よる	富山大学キャンパス	講座毎に 異なる	一般

富山大学 地域連携 推進機構 生涯学習 部門	後期 公開講座	ブラック企業から身を守れ！～労働法入門	10/1～11/5	10	富山大学共通教育棟 E棟 1階 E12講義室	10	若手労働者
		アンニョンハセヨ 韓国いろいろ話ろう(後期)	10/3～2/20	5	富山大学共通教育棟 E棟 4階 E44講義室	14	市民一般
		アンニョンハセヨで韓国を知ろう①(後期)	10/4～2/28	20	富山大学人間発達科学部 1棟1階 115講義室	14	市民一般
		アンニョンハセヨで韓国を知ろう②(後期)	10/6～2/23	20	富山大学共通教育棟 E棟 1階 E12講義室	14	市民一般
		心の疑問に心理学はどう答えるか？	10/4～12/13	10	富山大学人間発達科学部 1棟1階 112講義室	30	市民一般
		とやま学～近世富山の史料を読む(後期)	10/6～1/19	10	富山大学人間発達科学部 2棟3階 ワークスペース	13	市民一般
		ブルース「失われた時を求めて」をフランス語で読む	10/9～1/8	15	富山大学共通教育棟 E棟 4階 E44講義室	12	習熟から中級程度のフランス語の 読解力をお持ちの市民の方
		MBA経営管理実践講座	10/14～12/16	30	富山大学経済学部 教育 附属実習室	5	社会人経験5年以上の企業にお勤 りの方で、経営管理の知識に ついてご関心をお持ちの方
		中級フランス語8	9/27～2/7	20	富山大学人間発達科学部 1棟1階 114講義室	25	前期中級フランス語7を修了した 方、または前期中級のフランス語を 学習された方
		入門フランス語フランス文化4	9/27～2/7	20	富山大学人間発達科学部 1棟1階 114講義室	25	前期入門フランス語3を修了した 方、または前期入門フランス語を 学習された方
		初級フランス語6	9/27～2/7	20	富山大学人間発達科学部 1棟1階 114講義室	25	前期初級フランス語5を修了した 方、または前期初級フランス語を 学習された方
		中国語初級会話(後期)	10/1～1/7	20	富山大学共通教育棟 E棟 1階 E11講義室	16	市民一般
		中国語講座(会話中心の中級クラス)(後期)	10/4～2/14	20	富山大学人間発達科学部 3棟1階 116講義室	16	市民一般
		中国語さらなる一歩(会話中心の中国語 中級・中級クラス)(後期)	10/6～2/9	20	富山大学共通教育棟 E棟 1階 E11講義室	16	市民一般
		韓国語によるスピーチとディスカッション (上級)	10/7～1/20	20	富山大学共通教育棟 E棟 4階 E44講義室	10	市民一般
		アンニョンハセヨ 韓国語中級2	10/7～2/17	20	富山大学共通教育棟 E棟 4階 E44講義室	14	市民一般
		アンニョンハセヨ 韓国語中級ステップア ップ2	10/8～2/25	20	富山大学共通教育棟 E棟 2階 E23講義室	14	市民一般
		朝鮮半島のニュースを原語で読む(初級)	10/9～1/22	20	富山大学人文学部211(朝 鮮言語文化演習室)	15	市民一般
		ロシア語(初級・中級)(後期)	10/9～1/29	20	富山大学共通教育棟 E棟 1階 E12講義室	10	市民一般
		短い言葉で気持ちを表現する英語講座 #4 -ポーエム やポスター鑑賞に挑戦する- (B中クラス)	10/10～2/20	10	富山大学共通教育棟 E棟 4階 E44講義室	10	中級レベル以上の 市民一般や大学生
		Cours de français (Niveau moyen)	10/14～12/16	15	富山大学共通教育棟 E棟 4階 E44講義室	12	中級程度のフランス語語 力をお持ちの市民の方
		ドイツ歌曲を歌おう！(その2)	10/4～2/7	15	富山大学共通教育棟C棟 C22講義室	40	市民一般
		家庭で楽しみながら伝える、日本の文化 「和菓子」	10/5～11/30	10	富山大学人間発達科学部 2棟2階 調理室	20	市民一般
		ワープロ&表計算ソフトの基礎 ～WindowsでWord&Excelを活用してみよう～(後期)	10/7～12/9	20	富山大学共通教育棟 A棟 4階 表計算教育実習室	15	これからワープロ&表計算 ソフトを習ってみたいと 思っている方
ヨーロッパの食～過去と現在の文化の中 で	10/9～11/20	15	富山大学人間発達科学部 2棟2階 調理室	16	市民一般		
デジタル時代の自叙伝、回想録、写真集など の作り方、保存の仕方、楽しみ方	10/15～11/19	15	富山大学総合情報基盤セ ンター 1階 会議室	6	デジタル・デザイン・制作・編集・印刷 ・デザイン・グラフィック・デザイン・デザイン ・デザイン・グラフィック・デザイン・デザイン ・デザイン・グラフィック・デザイン・デザイン		
小学校図画工作科:ものづくりの楽しみ	11/13～12/18	10	富山大学人間発達科学部 3棟5階 図画工作室	20	小学校の教員または、小学生の お父さんやお母さんの方		
テラコッタ頭像制作	10/2～11/27	15	富山大学高岡キャンパス 彫塑室	15	市民一般		
テンペラ画	10/20～11/27	30	富山大学高岡キャンパス H182, H183, B2-113	16	市民一般		
富山大学 地域連携 推進機構 生涯学習 部門	後期 オープン クラス	平成26年度後学期富山大学オープンク ラス	10/2～2/3	時間数に よる	富山大学キャンパス	講座毎に 異なる	一般



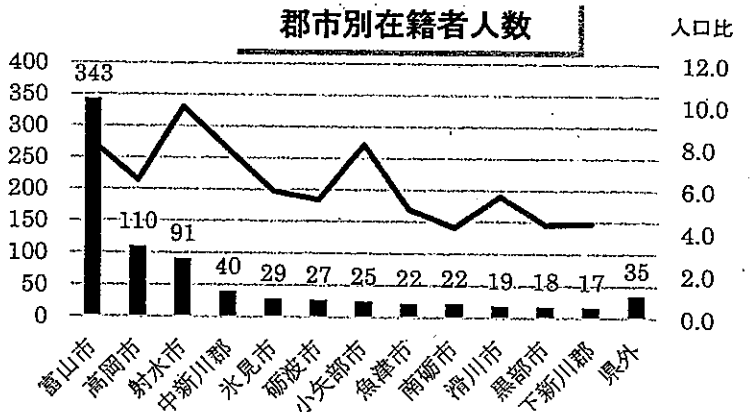
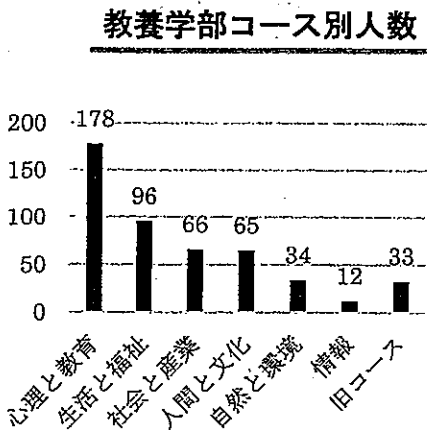
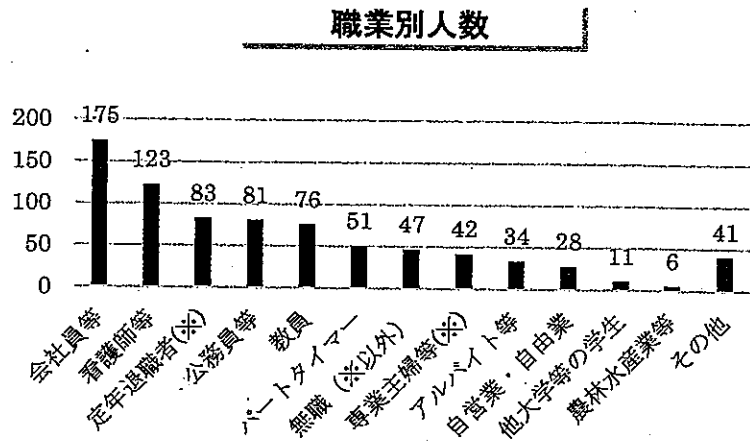
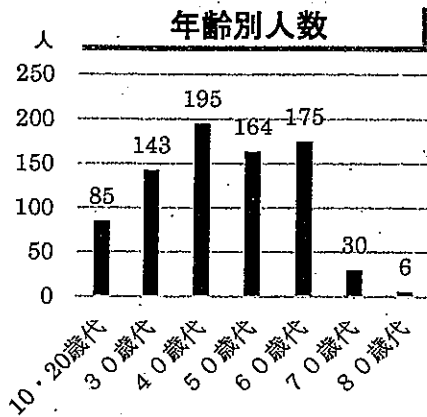
# 放送大学富山学習センター在籍者数の推移

年度・学期	全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講生	大学院計	修士全科生	修士選科生	修士科目生	大学院計	富山合計	全国学部	全国大学院	全国合計	備 考
H4-2		139	198	0	337					337	43,151		43,151	富山ビデオ学習センター
H5-1		280	270	0	550					550	46,537		46,537	
H5-2		251	182	1	434					434	47,697		47,697	
H6-1		358	206	3	567					567	51,611		51,611	富山地域学習センター
H6-2		353	175	1	529					529	53,821		53,821	
H7-1		432	207		639					639	57,979		57,979	
H7-2		432	181	2	615					615	59,299		59,299	
H8-1		476	205	2	683					683	62,031		62,031	
H8-2		520	193	0	713					713	64,448		64,448	
H9-1		510	198	0	708					708	65,981		65,981	
H9-2		524	174	10	708					708	66,730		66,730	CSデジタル放送
H10-1		545	199	19	763					763	67,990		67,990	富山学習センター
H10-2	63	520	180	28	791					791	69,775		69,775	全科履修生受入
H11-1	125	511	175	19	830					830	73,446		73,446	
H11-2	168	497	179	18	862					862	76,229		76,229	
H12-1	239	435	171	11	856					856	81,258		81,258	
H12-2	266	399	146	14	825					825	84,086		84,086	
H13-1	296	322	165	2	785					785	87,065		87,065	
H13-2	311	320	159	17	807					807	89,770		89,770	
H14-1	356	289	130	38	813	5		67	72	885	87,169	9,773	96,942	大学院受入
H14-2	362	282	149	22	815	5		86	91	908	89,374	9,907	99,281	
H15-1	410	261	149	21	838	9		171	180	908	86,036	12,475	98,511	
H15-2	424	254	162	22	862	7		156	163	925	88,352	11,152	99,504	
H16-1	446	213	105	11	775	9		101	110	885	87,145	7,778	94,923	
H16-2	438	219	148	20	825	9		88	97	922	88,877	7,073	95,950	
H17-1	443	229	120	2	794	9	61	19	89	833	87,391	7,413	94,804	
H17-2	443	222	107	2	774	9	71	10	90	863	89,389	7,857	97,246	
H18-1	450	213	91	3	757	9	65	13	87	844	84,553	7,075	91,628	
H18-2	435	199	102	2	738	9	70	14	93	831	85,091	7,121	92,212	
H19-1	435	195	84	4	718	12	58	4	74	792	80,799	6,245	87,044	ラジオ授業ネット配信
H19-2	422	199	103	6	730	11	50	6	67	797	83,126	6,296	89,422	
H20-1	396	199	73	5	673	14	50	11	75	748	77,926	5,944	83,870	テレビ授業ネット配信
H20-2	386	205	80	4	675	14	55	12	81	756	79,056	5,913	84,969	
H21-1	405	181	71	3	660	14	62	3	79	739	75,894	5,627	81,521	
H21-2	409	177	83	5	674	14	56	4	74	748	78,069	5,832	83,901	
H22-1	430	205	108	5	748	9	48	6	63	803	77,269	5,587	82,856	
H22-2	434	198	100	3	735	8	50	7	65	800	79,454	5,688	85,142	
H23-1	469	160	78	2	709	6	43	4	53	762	77,013	5,262	82,275	
H23-2	457	162	78	1	698	6	44	1	61	759	80,768	5,551	86,319	BSデジタル放送
H24-1	490	142	79	2	713	6	51	6	63	776	79,832	5,442	85,274	富山SC20周年式典
H24-2	493	144	73	3	713	6	51	8	65	778	83,194	5,707	88,901	
H25-1	507	152	55	5	719	5	48	4	57	776	81,146	5,572	86,718	放送大学30周年
H25-2	506	138	72	1	717	5	46	5	56	733	84,234	5,920	90,154	
H26-1	493	162	73	3	731	6	49	2	57	788	81,616	5,421	87,037	
H26-2	484	162	90	3	739	5	51	3	59	798	83,892	5,618	89,510	大学院博士後期課程受入



# H26-2 学生学籍状況 (H26/10/15現在)

	種 別	在籍者数	新入生数(内数)		男	女
			新規入学生	リピーター		
学 部	全科履修生	484	20	16	217	267
	選科履修生	162	22	20	65	97
	科目履修生	90	46	44	30	60
	特別聴講生	3	3	0	2	1
大 学 院	修士全科生	5	0	0	4	1
	修士選科生	51	6	2	27	24
	修士科目生	3	3	0	1	2
合 計		798	100	82	346	452



折れ線グラフの人口比は、人口1万人あたりの学生数

### 履修者の多い放送授業科目(教養学部)

No.	科 目 名	人数	No.	科 目 名	人数
1	死生学入門('14)	37	9	認知行動療法('14)	28
2	心理学概論('12)	34	11	心理臨床の基礎('14)	27
2	心理と教育を学ぶために('12)	34	12	心理統計法('11)	26
4	英文法 A to Z('13)	32	12	疾病の回復を促進する薬('13)	26
5	人格心理学('09)	30	14	教育と心理の巨人たち('10)	25
6	中高年の心理臨床('14)	29	14	問題解決の進め方('12)	25
6	錯覚の科学('14)	29	16	知的障害教育総論('10)	24
6	特別支援教育総論('11)	29	16	認知心理学('13)	24
9	食と健康('12)	28	16	感染症と生体防御('14)	24

## 富山県民生涯学習カレッジ

### 1. 施設の概要

#### (1) 富山県民生涯学習カレッジ本部及び地区センターの位置及び利用時間

名称 ( ) は設置年月	位置	利用時間
カレッジ本部 (昭和 63 年 10 月)	富山市舟橋北町 7-1 教育文化会館内	月・水～土 9時～19時 日・祝日 9時～17時
新川地区センター (平成 13 年 1 月)	魚津市木下新 144 (県立新川みどり野高校に併設)	月・水～土 9時～19時 日 9時～17時
富山地区センター (平成 24 年 1 月)	富山市神通町 2-12-20 (県立雄峰高校に併設)	月・水～土 9時～19時 日 9時～17時
高岡地区センター (平成 16 年 1 月)	高岡市末広町 1-7ウイング・ウイング 高岡内 (県立志貴野高校に併設)	月～土 9時～20時 日・祝日 9時～17時
砺波地区センター (平成 13 年 1 月)	小矢部市清水 95-1 (県立となみ野高校に併設)	月・水～土 9時～19時 日 9時～17時

#### (2) 事業の概要

本部及び地区センター	富山県の生涯学習の中核機関として、広域的・先導的な生涯学習事業を実施	
	多彩な学習機会の提供	県民の多様な学習ニーズに対応した幅広い分野の講座の開設
	学習情報の収集や提供	「とやま学遊ネット」「メニューブック『キャンパス』」「地区センターだより」による生涯学習情報の提供
	学習交流や学習成果の発表の支援	講座受講者・学習団体・県民が集まり、交流をとおして、生涯学習に対する意識の高揚を図る学遊祭(キャンパスフェスティバル)の開催
	学習相談	個人からの生涯学習全般に対する問い合わせ、団体や機関からの学習事業の企画や運営に関する相談等への対応
映像センター	「映像で学ぶ」「映像をつくる」「映像をいかす」「映像を集める」の4つの役割を担い、生涯学習活動を支援	
	郷土学習教材や「旬の富山」の制作	ふるさとの自然や暮らしに関する学習教材や後世に残したい富山の映像の制作
	映像コンクールの開催	ふるさとの身近な風景や人々の営み等を題材にした作品の募集・表彰・蓄積
	映像や機器の貸出	16ミリフィルムやDVD・ハイビジョンソフト、視聴覚機器の無料貸出
	「わくわく土曜シアター」や連携上映会の実施	なつかしいふるさとの映像や文学に関する映像等幅広いジャンルの作品をハイビジョン学習室で上映
	「とやまデジタル映像ライブラリー」の運営	ふるさとに関する映像のインターネットによる配信
	映像工房やスタジオの運営	映像の編集や録画・録音作業のサポート 施設の利用は無料

(3) 講座の概要

主 催 講 座	夏季講座（本部）	各分野の著名な講師から学ぶ講演会方式の講座
	自遊塾（本部・新川・富山・高岡・砺波・全域）	公募した県民教授がボランティア講師として運営する講座
	映像制作講座（本部） ・映像制作セミナー（映像作品制作講座） ・著作権講座 ・映像教材制作研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像を制作するための知識と技術を習得するセミナー</li> <li>著作権の概要を学ぶ講座</li> <li>教職員を対象に、視聴覚教育における指導力の向上を図る研修会</li> </ul>
	高志の国文学専門講座 ・探究コース（富山）  ・活用実践コース（本部）	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土にゆかりの深い文学者や文学作品について、講義と現地研修などを組み合わせて、学びを深める講座</li> <li>郷土の文学や歴史に関して、講師とともにフィールドワークを体験する講座 修了者は「はつらつ学びのリーダー」として認定</li> </ul>
	ふるさと発見講座（新川・高岡・砺波） ・人間探究コース  ・教養・実践コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の生き方や考え方、郷土の産業や風土などをテーマに、学びを深めるきっかけとなる講座</li> <li>地域の特色を活かしたテーマで、主として体験をとおして学ぶ講座</li> </ul>
	ふるさと文化探究講座（富山）	ふるさとの文化や産業などについて、現地研修を交えて学びを深める講座
委 託 講 座	共学講座（新川・富山・高岡・砺波）	地区センターに併設されている定時制・単位制高校の授業の一部を高校生と共に学ぶ講座
	学習団体講座（富山県生涯学習団体協議会） ・教養講座  ・広域交流講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県生涯学習団体協議会に委託して、県内4地区の特性に基づいて幅広いテーマで学ぶ講座</li> <li>県内4地区の生涯学習団体が交流を深める講座</li> </ul>
連 携 講 座	国・県・市町村・高等教育機関・公的機関・民間企業など各実施機関と協議のうえ開設 講座修了者には、県民カレッジ主催講座修了者と同様に修了単位を認定（本部・新川・富山・高岡・砺波）	

## 2. 受講者・施設利用者増加に向けて取り組んできたこと

### (1)本部

①県内社会教育施設で開催される講座やイベントを紹介した「メニューブック『キャンパス』」や、各種講座リーフレット等を媒体とした県民への広報活動

ア. 公的機関への配布

市町村窓口・社会教育施設（公民館や図書館等）・学校や高等教育機関等

イ. 個別テーマや講座の特徴に応じた配布

高等学校教育研究会や小学校教育研究会・講座やイベントの関係団体・過年度受講者等

ウ. 県内の退職教職員（約7,500名）への配布

②「とやま学遊ネット」による生涯学習情報の提供

ア. 検索可能な情報

学習情報・イベント・講師指導者・ボランティア・団体サークル・施設・文化財・ビデオ映画教材等

イ. 学習活動支援サービス

マイページ会員やマイページ特別会員サービスの提供

### (2)新川地区センター

①地域への積極的な広報活動

- ・ 「地区センターだより」やキャンパスフェスティバルのリーフレットを、魚津市地域協働課に依頼（窓口）として、地区センター近隣の町内会に回覧
- ・ 「夏休みワクワク教室」のリーフレットを、魚津市・黒部市・滑川市・入善町・朝日町の小学校へ配布

②ボランティア等を活用した広報活動

### (3)富山地区センター

①共学講座の開講数の増加

- ・ 平成25年度：24講座 → 平成26年度：32講座

②地域への積極的な広報活動

- ・ 「地区センターだより」を愛宕地区の21町内会長に依頼（窓口）として、各町内に回覧
- ・ 各種講座や学遊祭のチラシを独自に作成し、近隣町内全戸へ配布
- ・ テレビモニターをガラス越しに設置し、受講者募集の案内や受講風景を放映

③富山地区生涯学遊団体協議会の自主講座（2講座）の開催

④受講申込みや現地研修でのきめの細かい手立て

- ・ 共学講座募集期間内に、受講決定の参考資料として、地区センター内に教科書見本を展示
- ・ 「現地研修の手引き」を作成し、受講者が安心して参加できるよう配慮

### (4)高岡地区センター

①マスコミを通じた広報活動

- ・ 高岡市・射水市・氷見市の各ケーブルテレビで、講座の受講者募集案内を放映

②オリジナルポスターの作成

(5) 砺波地区センター

①「地域」重視の講座の企画

- ・ 平成26年度前期・人間探究コース：「となみ野の歴史的文化的文化回廊」  
後期・人間探究コース：「となみ野に根を張る地域の産業」

②受講者アンケートから得られた情報の活用

3. 受講者・施設利用者増加に向けて、今後取り組んでいきたいこと

(1) 本部

①リーダーの育成

- ・ 受講者の能動的な学習活動を取り入れることで、生涯学習のサークル活動等を推進する人材を育成

②自遊塾の動画による紹介

- ・ 自遊塾の講座内容を紹介した動画を作成（定期的に更新）し、「とやま学遊ネット」や県民カレッジのホームページから配信

(2) 新川地区センター

①マスコミを通じた広報活動

- ・ 地域のケーブルテレビ等のマスメディアを活用

②受講者を限定した講座の企画

- ・ 女性や小学生の保護者向けの講座を企画し、新規受講者を開拓

(3) 富山地区センター

①映像センターとの連携強化

- ・ 「わくわくシアター」（映像センター主催）を年1回から複数回の開催

② 富山地区生涯学遊団体協議会の自主講座の拡充

(4) 高岡地区センター

①「ふりかえり」を取り入れた講座の企画

- ・ 講座最終回にグループ別活動を取り入れて、学びを深め、学びの輪を拡充

②地域への積極的な広報活動

- ・ 自治会回覧板を活用して「地区センターだより」を紹介

③映像センターとの連携強化

- ・ 「郷土学習教材」や富山県に関する映像作品・名作映画等を毎月上映

(5) 砺波地区センター

①リピーター（受講を繰り返す人）の受講の拡散

- ・ リピーターに対して他の共学講座の受講を推奨することで、受講者の分散を図るとともに、受講者自身の学習分野を拡充

②地域の魅力を発信する講座の企画

- ・ ふるさとの特徴を知り、その魅力を発信することを目的とした講座を企画

# 富山県呉羽青少年自然の家

## 1 施設の概要

- (1) 活動面積 約 180,000 m<sup>2</sup>
- (2) 敷地面積 約 35,024 m<sup>2</sup>
- (3) 建物構造 鉄筋コンクリート2階建
- (4) 建物面積 2,983 m<sup>2</sup>
- (5) 宿泊施設 定員 200人

宿泊関係	和室	洋室	リナー室	集会室	食堂	浴室	ホール	研修室	医務室	乾燥室	トイレ	物干場	屋外シャワー
部屋数	8	16	2	1	1	2	2	1	1	1	4	1	1
定員	9~14	8	3	150	200	20	50	30	ベッド 2	雨衣 100着	大28 小19	150着	3人用

管理関係	所長室	事務室	電気室	ボイラー室	機械室	リネン室	雑庫	宿直室	厨房	厨房事務室	厨房休憩室	食品庫	車庫
------	-----	-----	-----	-------	-----	------	----	-----	----	-------	-------	-----	----

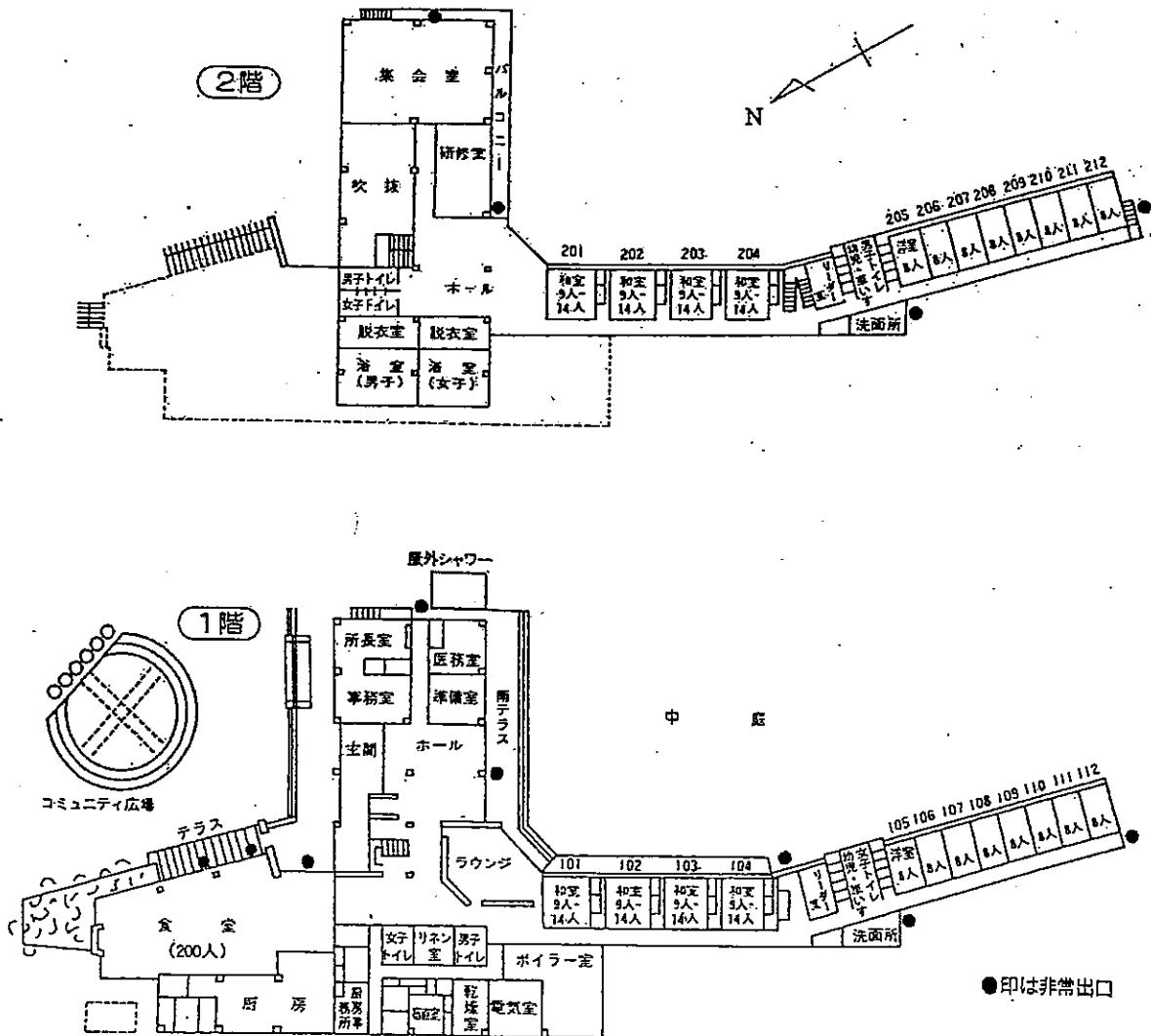
## (6) 野外施設

グラウンド	中庭	キャンプ場	営火場	給水場	夜間安全灯	林間プレイランド	三楽池	トイレ	三楽川	野外活動用品収納庫	野外炊飯棟
約2,500m <sup>2</sup>	2,400m <sup>2</sup>	約3,000m <sup>2</sup>	2	カラン20	3	約3,000m <sup>2</sup>	約1,000m <sup>2</sup>	1棟	200m <sup>2</sup>	158.4m <sup>2</sup>	106m <sup>2</sup>

(7) 建設費 343,230千円

財源内訳 (国補助金 40,000千円 地方債 130,000千円 一般財源 173,230千円)

## 施設の平面図 (本館)



## 2 平成 26 年度 集客増加方策

- ① リピーター＋新規利用者の開拓
  - ・ 団体への利用確認のTEL(利用申込み忘れ防止)
  - ・ 市内高等学校への勉強合宿利用の広報・宣伝
  - ・ 大学生、教員向け研修会(自然体験活動フォーラム)の広報・宣伝
- ② 主催事業の案内状配布の工夫
  - ・ 全県下の小学校配布及び富山市・高岡市・射水市へ配布増
- ③ 児童対象事業(冬の集い)を親子対象事業に変更
  - ・ 当初、児童対象(1～3年)であったものを、親子対象に児童の対象も1～6年に拡大
- ④ 利用者が安全・快適に利用できるための施設等の修繕・改善
  - ・ 専門業者との連携による敷地内の害虫駆除点検の強化
  - ・ 三楽池の修復工事と定期的水質検査
  - ・ 冷房エアコンの特別清掃
- ⑤ 石窯による野外炊飯メニューの開発、充実
  - ・ 今年度1基増設し、合わせて2基の石窯を設置
  - ・ パン、ピザ、ビーフシチュー、焼き芋 等
- ⑥ 食堂メニュー(献立・味)の向上(アンケートを基にしたメニューの見直し)
  - ・ 昼食を3パターンのローテーションに
  - ・ 煮物など「手作り感」のあるメニューの提供
- ⑦ 事業をより充実するためのボランティアの確保
  - ・ 富山大学でのPR活動
  - ・ 事業前の高校学校等に対する訪問活動

## 3 利用者等の増に向けて今後取り組んでいきたいこと

- ① 保育園・幼稚園に対する利用促進の広報・宣伝活動の強化
  - ・ 県内主な保育園・幼稚園に対しての「要覧・利用ガイド」の配布や郵送  
→今までは利用していただいた保育園・幼稚園だけに郵送していた。



- ・ 10月以降の閑散期に「遠足等での利用案内」の配布や郵送
  - ※園児は日帰りについては無料だが、後の利用（料金の発生する小学生以上）に向けて、この時期（保育園・幼稚園）から呉羽のよさを知ってもらう。
- ② 食堂メニュー（献立・味）の向上
    - ・ 年度末に食堂の栄養士さんに10種類くらいのメニューを考えて頂き、実際に試食し、次年度に向けてよりよいメニューの考案に努めている。
  - ③ 利用者アンケートを基にした運営改善会議の毎月の開催
    - ※運営改善会議出席者＝県職（所長、所長代理、社会教育主事）  
文化振興財団（マネージャー、事務職員）※指定管理者  
給食業務者（マネージャー、栄養士、調理師）
  - ④ 活動プログラムの精選と活動エリア、用具、指導用資料の見直し
  - ⑤ 活動プログラム用資料等のホームページ上での情報提供
  - ⑥ 利用促進宣伝用ポスターの作成と県内学校、教育施設等への配布
  - ⑦ 異年齢生活体験推進事業（夏合宿・なかよし合宿）の継続実施
    - ※異年齢生活体験推進事業は青少年育成富山県民会議主催
  - ⑧ クラフト体験会、学級でクラフト、子供が育つ野外体験活動フォーラムの継続実施
    - ※クラフト体験会、学級でクラフト、子供が育つ野外体験活動フォーラムは、富山県青少年教育施設協議会「体験の風をおこそう」実行委員会主催
  - ⑨ 石窯による野外炊飯メニューの開発、充実
  - ⑩ スポーツ少年団、中・高等学校運動部への広報・宣伝活動
  - ⑪ 富山市ファミリーパークとの連携
    - ・ 「秋の集い」「なかよし合宿」での乗馬体験、里山動物教室の実施

# 富山県砺波青少年自然の家

## 1 施設の概要

### ① 名称及び位置

名 称	富山県砺波青少年自然の家
所 管	富山県教育委員会 生涯学習・文化財室
指定管理者	株式会社 日本ビルサービス
所 在 地	砺波市徳万字赤坂17-5
位 置	東経 137度1分25秒 北緯 36度37分23秒 標高 140m

### ② 環 境

富山県砺波青少年自然の家は、利用する人たちが自然に親しみ、自然の中で集団生活や野外活動体験、体育活動等を行い、心身を鍛錬し情操や社会性を豊かにする青少年教育施設です。

当青少年自然の家は、散居村とチューリップに代表される砺波平野を眼下に見下ろす芹谷野丘陵に位置しています。そして、周囲には県民公園頼成の森や和田川ダム、増山城跡、夢の平スキー場などの恵まれた自然環境があります。このような豊かな環境の中で、利用する人たちが心身ともに健全に育つための多様な活動を体験し、目標の達成をめざします。

### ③ 沿 革

昭和55年	8月	本館工事竣工式、開所式（利用第1号＝般若小学生）
昭和57年	9月	東海北陸地区青年の家等運営研究大会開催
昭和58年	5月	食堂壁画「アルプスの花除幕」
	7月	学習院高等科地理研究会にて礼宮様（現秋篠宮様）ご宿泊
	10月	第7回全国育樹祭にて、皇太子・同妃殿下（現天皇・皇后陛下）ご行啓
	11月	体育館完成 竣工式
昭和60年	8月	宿泊利用者10万人達成
平成 2年	8月	宿泊利用者20万人達成
	11月	創立10周年記念事業「砺波青少年の家まつり」開催
平成 9年	8月	宿泊利用者30万人達成
平成12年	11月	創立20周年記念式典「となみ青少年の家まつり」開催
平成15年	9月	キャンプ場用品収納倉庫新設工事
平成17年	4月	宿泊利用者40万人達成
	10月	全国青年の家等運営研究大会開催
平成19年	4月	富山県条例第51号により、富山県砺波青少年自然の家と改称する。 指定管理者「日本ビルサービス」。開所式を行う。
平成20年	12月	富山県砺波青少年自然の家体育館屋根本格的改修工事
平成22年	4月	(株) ニッコトラストが指定管理者となる。
	9月	創立30周年記念式典「となみ青少年の家まつり（オープンデー）」開催 新マスコットキャラクター TOMMY（トミー） NAMMY（ナミー） 誕生
平成23年	7月	宿泊利用者50万人達成
平成24年	3月	クライミングウォール、インディアンテント、イニシアチブゲーム、施設などの野外活動施設及び用具の新設
平成25年	5月	ジップライン等、「森のあそび」が完成 どんぐり広場の整備に着手
平成26年	6月	どんぐり広場及びどんぐり池 完成

④ 概要

○敷地面積 55,830.17 m<sup>2</sup>

○建物構造 本館・・・鉄筋コンクリート3階建て(一部4階建て)5,216 m<sup>2</sup>

○生活施設 本館・・・定員223名(8名×24室、リーダー室2名×2室、特別研修棟27名)

<生活部門>

階	名称	面積	収容人員	主な設備・備品	
三階	宿泊室	20×12室 240 m <sup>2</sup>	8人×12室 96名	各室 ベッド8、たたみ3畳、ロッカー10	
	リーダー室	20 m <sup>2</sup>	2名	ベッド2、会議用テーブル、いす、洗面台、冷蔵庫	
	ロビー	51 m <sup>2</sup>		碁、将棋、オセロ、テレビ、本、ホワイトボード	
	洗面所			カラン15	
二階	宿泊室	20×12室 240 m <sup>2</sup>	8人×12室 96名	各室 ベッド8、たたみ3畳、ロッカー10	
	リーダー室	20 m <sup>2</sup>	2名	ベッド2、会議用テーブル、いす、洗面台、冷蔵庫	
	ロビー	51 m <sup>2</sup>		碁、将棋、オセロ、テレビ、本、ホワイトボード	
	洗面所			カラン15	
一階	ロビー	112 m <sup>2</sup>		碁、将棋、オセロ、テレビ、本、自動販売機 BDプレーヤー	
	大浴場	浴室	53 m <sup>2</sup>	30名	シャワー15
		脱衣場	30 m <sup>2</sup>		ドライヤー3、脱衣棚52
	中浴場	浴室	41 m <sup>2</sup>	25名	シャワー12
		脱衣場	30 m <sup>2</sup>		ドライヤー3、脱衣棚52
	レストラン	181 m <sup>2</sup>	150席	6人用テーブル×25	
	レストラン用洗面所			カラン6	
	下足室	26 m <sup>2</sup>	594足	正面384、体育館210	
	事務室	69 m <sup>2</sup>		全館放送マイク	
	会議室	20 m <sup>2</sup>		机4、イス12	
ボランティアルーム	20 m <sup>2</sup>		机4、イス8		
リネン室	32 m <sup>2</sup>		使用済シーツ・枕カバー返納棚		

<研修部門>

階	名称	面積	収容人員	主な設備・備品
三階	第1研修室	119 m <sup>2</sup>	90名	机31、イス91、小型スクリーン
	第2研修室	40 m <sup>2</sup>	18名	机6、イス18
	第3研修室	41 m <sup>2</sup>	24名	机9、イス27
	音楽室	62 m <sup>2</sup>	42名	机15、イス43、テレビ、ピアノ、楽器
二階	第4研修室	40 m <sup>2</sup>	18名	机6、イス18、テレビ
	第5研修室	41 m <sup>2</sup>	24名	机9、イス25
	第6研修室(和室)	63 m <sup>2</sup> (27帖)	42名 (宿泊10名)	座敷用長机20、冷蔵庫
	視聴覚室	92 m <sup>2</sup>	63名	机21、イス64、スクリーン、テレビ 液晶プロジェクター
一階	大研修室	220 m <sup>2</sup>	180名	机50、イス170、スクリーン、暗幕、マイク、 ホワイトボード3、キーボード 液晶プロジェクター
特別研修館	第7研修室(和室)	72 m <sup>2</sup> (36帖)	36名 (宿泊18名)	座敷用長机18
	第8研修室(和室)	36 m <sup>2</sup>	18名 (宿泊9名)	茶道研修用具一式、炉、水屋2畳
	談話室	110 m <sup>2</sup>	50名	炉、テレビ、ステレオ
体育館	スポーツフロア	945 m <sup>2</sup> (27m×35m)		放送設備、スポーツ・ダンス用鏡 バスケットボール2面、バレーボール2面 バドミントン6面、テニス1面 ハンドボール1面
	器具室	51 m <sup>2</sup>		各種スポーツ用具
	更衣室	男 16 m <sup>2</sup> 女 24 m <sup>2</sup>		脱衣棚、洗濯機各2
	乾燥室	48 m <sup>2</sup>		物干し、ハンガー
	ギャラリー	185 m <sup>2</sup>		卓球台7、幼児用マット クライミングウォール(4m×1.8m)
野外	グラウンド	10, 600 m <sup>2</sup>		一般用サッカーゴール1組、 少年用サッカーゴール1組、フラッグボール、 簡易バックネット、アルミレーキ20本
	キャンプ場	12, 840 m <sup>2</sup>		テント(5人用)25、シュラフ100、マット 100、常設テント(ティピー 10人用 4張り) 野外料理用具
	キャンプファイヤー場 ミニキャンプファイヤー場 森のファイヤー場	400 m <sup>2</sup> 225 m <sup>2</sup> 320 m <sup>2</sup>	約200人 約30人 約60人	放送設備(CD、カセット、ワイヤレスマイク) ※ ミニ、森のファイヤー場利用時は、ポータブルアンプ を貸出いたします。

⑤ 利用料金

利用料金

区分		26歳以上	25歳以下	小・中学生	6歳未満
宿泊料 (1人1泊)	本館	2,320円	690円	350円	無料 (寝具を使用する 場合270円)
	キャンプ場		160円	90円	無料
日帰り利用料 (1人1日)				90円	無料

食事料金

	朝食 (バイキング)	昼食 (定食)	夕食 (バイキング)
小学生 以上	420円	520円	660円
幼児	350円	430円	560円

⑥ 主な活動メニュー

追跡ハイキング (天狗山コース)		180~240分 (小学生)
オリエンテーリング (OL)	スコアOL	90~180分 (中学生以上)
	ビンゴOL	60~90分 (小・中学生)
	ネイチャーOL	60~90分 (小学生)
トミーを探せ		60~90分 (小学生)
イニシアティブゲーム		90~240分 (小学生~)
森のあそび		120分~ (幼児~)
Zip Line		120分~ (幼児~)
クライミングウォール		60~90分 (幼児~)
夢の平ハイキング		1日 (小学生~)
ナイトハイキング		40~80分 (小学生~)
野外料理		150~240分 (小学生~)
キャンプ		設営撤収各 60分 (小学生~)
インディアンキャンプ		(小学生~)
キャンプファイヤー		90~120分 (小学生~)
インディアンキャンプファイヤー		150~180分 (小学生~)
スターウォッチング		60~120分 (小学生~)
冬季 間	かんじき・スノーシュー体験	(小学生~)
	雪あそび	(幼児~)

館内ビンゴオリエンテーリング	60~90分 (小学生~)
となみんピック	60~240分 (幼児~)
キャンドルのつどい	90~120分 (小学生)
木の実クラフト ・プレート ・ペンダント ・松ぼっくりツリー	120~180分 (幼児~)
枝笛	90~180分 (小学生~)
木の枝マイスプーン、マイフォーク	90~120分 (幼児~)
七宝焼	120~180分 (小学生~)
レザークラフト	90~120分 (小学生~)
プラバン (A4版1枚+キーホルダー1個)	60~120分 (小学生~)
石けん作り	60~120分 (幼児~)

幼児用メニュー

メニュー		時間
野 外 活 動	どうぶつ しりとり	約45分
	きの はかせ	約45分
	トミーを さがせ (幼児コース)	約60分
	レッツゴー! 〇〇っこ たんけんたい	45分~90分
館 内 活 動	となみんピック (幼児用)	約60分
	トミーを さがせ (館内探検)	40~60分

## 2 平成26年度に利用者を増やすために取った方策

今年度から、指定管理者が㈱日本ビルサービスに替わり、新たな体制でのスタートとなった。利用者(特にリピーター)には今まで通り利用してもらうため、昨年度を踏襲した方針で運営してきたため、利用者増をねらった特別な取り組みを実施していない。

### ◎新規利用者獲得のための方策

#### オープンデー

例年以上に様々な方に自然の家を知ってもらうため、県内の企業・団体と連携しブースを増やし、多くの方に来てもらえるように工夫した。

#### 大人の林間学校

県外で富山県をPRしている団体に協力し、主に県外の参加者を集めた「大人の林間学校」を2回受け入れた。自然の家ではキャンプファイヤー体験や自然散策をしたり、高岡銅器などの講座を受けたりした。

#### 利用のガイド

今まで手前で印刷・製本していた利用のガイドを、業者に発注し冊子にした。利用者にとって使いやすく、見やすくなった。

### ◎リピーターを増やすための方策

#### 冷暖房

冷暖房はアンケートの中でもっとも評価が悪く、機械の老朽化により能力は開所当時よりかなり落ちている。しかも、温暖化の影響からか熱帯夜の日が多いため、夜間の運転を少しでも長くして利用者が快適に過ごしてもらえるよう努力している。

#### 乾燥室

長期宿泊団体や、スポーツ団体が洗濯物を干す乾燥室の暖房をできる限り利用者の要望に応じて運転した。

#### マイクロバス

幼稚園や保育園、スポーツ団体や児童クラブなど約130団体3200人をマイクロバスで送迎した。

#### 事前打ち合せ

団体との事前打ち合せでは、自然体験活動等の日程や使用する研修室などきめ細かく話し合い、できる限り団体の希望に沿えるように配慮するとともに、利用団体の負担をできるだけ減らし、活動しやすい環境づくりを心がけた。

### 3 平成27年度の利用者を増やすための方策

#### ◎新規利用者獲得のための方策

現在の利用状況は、土日の利用（スポーツ団体及び、部活動の合宿等）がほぼ空きがない状態だが、今後、利用者を増やすためには平日の利用をPRしていく必要がある。

近年、少子化の影響で、同じ学校が利用しても人数は減っていく傾向にあるが、体験活動を広めていくという本所の目的から考えると、県内の同様な施設同士で競合しても、体験活動の広がりはなく、青少年教育施設としての目的は達成できない。

今後取り組んでいく方策としては、今まで自然の家を利用していなかった団体にPRすることや、他の施設ではやっていないような活動を新規に開発することで利用者増を目指したい。

⇒大人の利用団体を増やす

（企業研修、老人クラブ）

⇒低年齢の利用者拡大

（幼稚園、保育園、保育所）

⇒他の施設ではやっていない活動の拡大

（通学合宿等）

#### ◎リピーターを増やすための方策

現在提供しているサービスは、利用者からのアンケートを見る限り評価は高い。しかし施設、設備面では老朽化が進み、今後も評価がどんどん下がっていくと考えられる。特に冷暖房設備や宿泊室、浴室などのハード面の更新が必要だが、経費等の関係からすぐに更新することは困難である。したがって、接遇の改善などソフト面を見直し、少しでも利用者の満足度を高める努力をしなければならない。

⇒26年度に実施した方策・サービスは継続して取り組む

（冷暖房、乾燥室、マイクロバス、事前打ち合わせ）

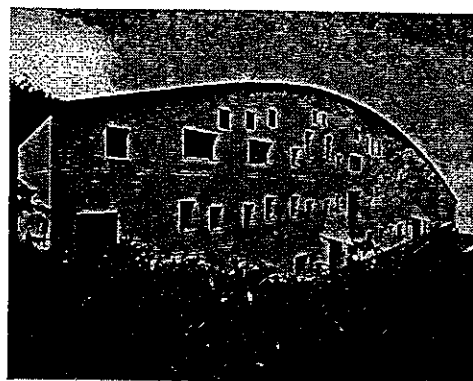
⇒新たな活動プログラムの提供

（幼児向けプログラム、小学生～高校生向けプログラム、クラフトの3つを準備中）

⇒プレゼンテーションツールを使った短時間で分かりやすい説明資料の作成

## 1. 立山荘の特徴

- (1) 日本最高所（標高 1,940m）の国民宿舎（低料金で宿泊の場と食事を提供）
- (2) 富山県自然観察員（チャリスト）による自然解説活動をはじめとする弥陀ヶ原における自然体験活動の拠点
- (3) 県内小学生集団立山登山の宿泊・休憩の拠点
- (4) 宿泊定員



客室の形態	各室面積 (㎡)	室数・定員	定員 (人)
洋 室	12.5	シングル1人×10室	10
	17.5	ツイン2人×5室	10
	32.0	トリプル3人×1室	3
和 室	6~12畳	17室	66
計		33室	89

## 2. 施設のリニューアルについて

H26年度に耐震改修工事を実施し、H27年4月よりリニューアルオープン予定。

## ○改修内容

	区 分	概 要
1	外 壁 補 修	国立公園内の景観を考慮し、全面壁補修
2	耐 震 補 強	建物全体の耐震性能を向上させるために、コンクリート壁の増設等を実施
3	内 装 工 事 等	温水洗浄機能付き便座へ取替え 天井照明の一新（フロント前休憩スペース・自然学習ルーム等） 大浴場の環境改善（天井・床タイルの貼替え、断熱ガラスの導入）
4	老 朽 備 品 の 更 新	シティホテル仕様のベッドに一新 デジタルテレビに一新（客室・フロント前休憩スペース等） 資料コーナーの充実（山岳関係の図書・DVD購入）

(参考)

① 宿泊料金（県内小学校集団立山登山） 1泊2食 8,000円（H26年度）

## ② 宿泊利用者数

・H26年度：5,371人（うち県内小学校集団立山登山 43校 2,606人）  
（H26.5.7~H26.7.11工事のため休業）

・H25年度：5,543人（うち県内小学校集団立山登山 30校 1,989人）



### 3. 富山県立山荘集客力アップのための取組（平成27年度）

#### 積極的な営業活動

地元旅行会社と連携し、立山春スキーツアー、立山室堂・魚津埋没林博物館ツアーを実施する。  
大手旅行会社（JTB・近畿日本ツーリスト、日本旅行、阪急）との契約提携による販売拡大。  
富山県旅館組合への加盟し販促活動を行う。イベント情報を県内小学校や県民会館などに配布する。

#### 立山荘公式サイトリニューアル制作

パソコンやスマートフォン、タブレット端末などに対応できる最適なデザインにする。  
メールマガジン・SNSによる情報発信によりリピーターを増やす。

#### メディアへの積極的な露出拡大

新聞や雑誌の広告掲載を積極的に活用し、メディアへの取材依頼を行う。

#### 作品展（写真展、絵画展、書展）の企画実施

#### 修学旅行の受入

#### 外国人旅行客の受入態勢強化

立山山岳協会と協業し、台湾からの集客を行う。  
英語・台湾語のパンフレットや多言語会話集や、タブレットを使用した対応研修を実施し、受入態勢を整える。

#### 滞在型リゾートエリア創出のため各種プログラム提案

立山フォトオリエンテーリング、星空ウォッチング、語り部による「今宵の立山ばなし」、  
スライドショー上映会、立山エリアを起点とした富山県内へのミニ旅行の企画

#### スポーツ合宿の受入

スポーツ強化メニューを提供し、高地合宿をサポートする。  
富山マラソン事前トレーニングプログラムを企画する。

#### 地産地消

県産食材を活用し、県内各地の旬の料理を提供する。  
白海老かき揚げ、五箇山豆腐、ダイコンの葉のごし、サトイモの煮物、ほたるいか天ぷら、  
ととぼっちの味噌汁など

#### 屋外入口にカフェスペース設置

屋外入口付近に椅子とテーブルを設置し、無料案内所を設け、昼食や軽食を提供する。

#### 客室設備の充実

寝具類の入替（通常のホテルのように、軽くて清潔な寝具を用意）を行う。  
シングルルームにエキストラベッドを設置する。  
折りたたみ式物置を用意、壁にハンガーレールを取付ける。

#### お土産品の充実

例として、氷見うどん、鱒寿司、瀬戸焼など、売れ筋商品の品揃えを充実させる。  
インターネットショップを運営する。

#### 畳敷きへの部屋転用

県内小学生集団立山登山の受入人数拡充のため、移動可能な畳40程度を設置する。

#### Wi-Fiエリアの設置

## 富山県埋蔵文化財センター

### 1 施設の概要

#### (1) 沿革

- ①昭和51年 4月 6日 センター新築工事着工
- ②昭和51年11月30日 センター新築工事竣工
- ③昭和52年 1月 4日 富山県教育委員会行政組織規則の一部改正により、富山県教育委員会社会教育部文化課の出先機関として「富山県埋蔵文化財センター」設置
- ④昭和52年 4月 1日 センター開所
- ⑤昭和61年10月 6日 センター増築工事着工（展示室・会議室・収蔵室等）
- ⑥昭和62年 8月28日 センター増築工事竣工
- ⑦昭和62年10月23日 「富山県埋蔵文化財センター条例」が施行
- ⑧昭和62年10月23日 「富山県埋蔵文化財センター条例施行規則」が施行
- ⑨平成 4年 3月26日 博物館法（昭和26年法律第285号）第10条の規定により、公立博物館に登録
- ⑩平成 4年 4月 1日 富山県教育委員会行政組織規則の一部改正により、企画調整課と調査課が設置
- ⑪平成 4年 4月 1日 富山県会計規則の一部改正により、第一種出先機関
- ⑫平成14年 3月27日 考古体験広場（東屋等）整備工事竣工
- ⑬平成15年 4月 1日 富山県埋蔵文化財センター条例施行規則の一部改正により、土曜日、日曜日及び国民の祝日を新たに開館日、金曜日を休館日
- ⑭平成24年 3月22日 展示室、木器収蔵室及び空調設備改修工事竣工（光をそそぐ交付金事業）

#### (2) 事務事業の概要

##### ①分掌事務の概要

- ・埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- ・埋蔵文化財に関する展示会、講習会、研究会等に関すること。
- ・埋蔵文化財に関する調査の企画等に関すること。
- ・埋蔵文化財に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。

- ・埋蔵文化財の発掘調査及び保存に関すること。
- ・その他、埋蔵文化財に関すること。

## ②現在の事業の概要

### ・埋蔵文化財の発掘調査及び保存

立山・黒部山岳遺跡調査事業（平成22年度）：立山・黒部地域における古代から近代までの山岳信仰遺跡や近代登山等に係る遺跡の所在や内容等を把握して、その保存と活用の基礎資料とする。

木製品の保存処理 遺跡出土の木製品に PEG 含浸処理を行い、保存及び展示等に活用する。

### ・展示会の開催

企画展・特別展の開催（昭和62年度～）：展示室において、それぞれテーマを設け、企画展を年2回、特別展を年1回程度開催する。

### ・普及活動

ふるさと考古学教室：夏休み期間中及び特別展開催中に「試す」・「触れる」・「見る」等の体験学習を中心とするテーマで、県内の小・中学生とその保護者を対象に実施する。

こども考古学クラブ（平成23年度～）：考古体験の検定を通して、考古学や文化財への理解を深めてもらうことをテーマで、小・中学生を対象に実施する。

県民考古学講座（平成4年度～）：県民の考古学への関心に応えるため、考古学の基礎から最新の調査成果まで、外部講師及び当センター職員が講師となり県民を対象に実施する。

ミニ考古学博物館（平成24年度～）：主に県内遠隔地に赴き、小中学生や大人を対象に、地域の出土品展示や各種体験学習などを実施する。

出前授業・来館学習（平成15年度～）：センターの収蔵品を用い、小・中学校等で地域の歴史に密着した「出前授業」・「来館学習」を実施する。

展示資料の再整理及び広報冊子作成（平成19年度～）：県を代表する出土品の保存活用のため、復元及び紹介のための広報冊子の作成を行う。

## 2 利用者増に向けて取り組んできたこと

### (1) 展示

- ①特別展「とやまの史跡50年」では関係市町教委と共催し、史跡見学等の関連イベントを4回開催した。

②企画展「弥生時代のとやま」では、同展のポスター・チラシに関連行事（講座及び展示解説会）の日時を掲載した。

(2) 普及活動

①ミニ考古学博物館の開催を県内7公民館に拡大し実施した。

②体験学習メニューの種類を増やした。(火起しメニューでもみギリ・弓ギリの追加)

③利用諸学校の学習が円滑に進むよう、学習指導案を作成した。

④児童・生徒が、当センターの学習や体験を通して「考える」ことができるようなカリキュラムを作成した。

⑤ふるさと考古学教室の申込方法の簡易化を図った。

3 利用者増に向けて今後取り組んでいきたいこと

(1) 展示

①全国規模の展示会の開催及び重要文化財の展示等、魅力ある展示会の開催  
(平成27年度は「発掘された日本列島2015」展を開催)

②関連行事の開催

③各種イベントの誘致(県政バス・講座・研修会 など)

④積極的な広報(コンビニエンスストア等でのポスター・チラシの掲示)

⑤開館時間の延長

(2) 普及活動

①出前授業・来館学習

- ・小中学校の社会科以外の教科にも利用できる出前授業プログラムの開発
- ・中学校向けの出前授業プログラムの開発
- ・出前授業・来館学習の広報

②体験学習

- ・各種体験メニューの開発と内容の充実

③他施設との連携

- ・地域の小学校、生涯学習施設との連携事業
- ・市町村教委・博物館等との連携事業
- ・県立図書館・公文書館との連携事業

## 富山県立図書館

### 1 施設の概要 別添要覧のとおり

### 2 利用者等の増に向けて取り組んできたこと

#### (1) 施設利用者・図書貸出冊数増加対策

- ・企画展示や県関連機関との連携ミニ展示を行い、展示関連の文献リストを作成した。
- ・図書館見学会・利用講習会を開催し、図書館の活用・閉架図書の貸出を促した。
- ・地域情報発信ホームページ「まいぶれ」を活用した広報を11月から始めた。アクセス数は、月平均約900件あった。
- ・行政及び学校関係者を対象とした県立図書館活用方法の研修を実施した。

#### (2) 図書貸出冊数増加対策

- ・4月1日から議会図書室を通じた図書受渡サービスを始めた。
- ・4月1日から高志の国文学館での図書受渡サービスを始めた。
- ・県立高校団体貸出サービスの利用促進を図った。

#### (3) 施設利用者増加対策

- ・企画展示の関連イベントとして富山大学中央図書館に出向いて講座を開催した。
- ・中高校生を対象とした説明会（中学校訪問、14歳の挑戦、インターンシップ）。
- ・雑誌コーナーと新聞コーナーの一体化を図り利便性の向上を図った。
- ・雑誌スポンサー制度を導入し図書資料の充実を図った。

企画展示、ミニ展示、イベントについては、下記一覧表を参照願います。

【参考】

#### ○企画展示

No.	期間	テーマ・概要
1	4.22(火) ～5.6(火)	のりもの絵本を楽しもう！まちどおしいな、しんかんせん 北陸新幹線の開業を前に、当館に所蔵する乗り物に関する児童書を中心に、展示・貸出。
2	5.9(金) ～5.25(日)	ようこそ富山へ～富山ビギナー講座～ 転勤、入学などを機に多くの県外出身者が富山県に転入する年度初めに、富山県を紹介する所蔵本などを展示・貸出。
3	6.3(火) ～6.22(日)	快適を みんなの図書館に！ ～富山県図書館協会マナーアップキャンペーン～ 富山県図書館協会が実施するマナーアップキャンペーンの巡回展示を県立図書館で実施。
4	7.15(火) ～8.31(日)	夏休みは図書館へ！ 自由研究、工作、読書感想文など、夏休みの課題に役立つ本を展示。
5	9.9(火) ～10.5(日)	調べてみよう！ふるさとの地図 当館に所蔵する郷土関係地図等を展示。
6	10.7(火) ～11.16(日)	文学にみる立山 ～近代作品を中心に～ 立山博物館特別企画展「近代の文人と立山」の連携展示。
7	10.21(火) ～11.16(日)	「高志の国文学」情景作品コンクール入選作品展 中高生らによる作品（文芸、美術、写真）を展示。
8	10.28(火) ～11.16(日)	くらべてみよう 日本語の本・外国語の本 過去に話題になった本、名作など、世界各国語に翻訳された図書を比較して展示。
9	12.13(土) ～12.24(水)	クリスマスの本 クリスマスに関する絵本、関連図書を展示。
10	1.6(火) ～1.25(日)	アンデルセンと冷光 高志の国文学館「冷光文庫展」の関連展示。

11	1.27(火) ～2.15(日)	富山の美味しいもの 富山の食をテーマに、地場産食材、郷土料理などに関する所蔵資料を展示。
12	3.24(火) ～4.19(日)	北陸地区県立図書館長会巡回展示「北陸4県の旅へのいざない」 北陸新幹線の開通に合わせ、旅をテーマに北陸地区各県立図書館所蔵郷土資料を巡回展示。併せて、北陸4県の県立図書館司書が薦める本と紹介文を展示。

### ○ミニ展示

No.	期間	テーマ・概要
1	4.29(火) ～5.6(火)	県立機関展覧会等関連展示 埋文セ展示「古代へのとびら 2014」の関連展示
2	5.20(火) ～6.1(日)	水墨美術館展覧会『ザ・屏風』関連展示 屏風に関する資料展示
3	12.20(土) ～1.18(日)	年末年始にトライ！～ビジネスに効く必読本～ 「必読本大全」「働き女子の必読本」で紹介された本のうち当館所蔵図書展示
4	3.3(火) ～3.22(日)	震災からのあゆみ 東日本大震災。防災、復興、原発などさまざまな課題と向き合った本の内、最近1年間に出版されたものを展示
5	3.3(火) ～3.22(日)	エンジン01で来県される講師の著書紹介

### ○イベント

No.	期間	テーマ・概要
1	5.15(木)	富山ビギナー講座
2	7.17(木)	インターネット蔵書検索利用講習と書庫内見学会
3	7.30(水) 8.6(水) 8.20(水) 8.27(水)	なつのおはなし会
4	8.7(木) 8.21(水)	親子図書館見学ツアー
5	10.2(木)	国土地理院講演会「国土地理院の地図の紹介」
6	9.24(水)	ビブリオバトル京都決戦 2014 予選 in 富山県立図書館
7	12.26(金) 1.7(水)	ふゆのおはなし会
8	1.28(水)	データベース講習会
9	3.27(金)	はるのおはなし会

### 3 利用者等の増に向けて今後取り組んでいきたいこと

- ・図書館の資料や機能を県民にさらに発信するため、図書館見学会、図書館活用セミナーなど、図書館利用の普及啓発活動にさらに努めるとともにソーシャルネットワークサービス (Twitter) を通じた広報の充実を図ります。
- ・平成27年度も前年度同様企画展示、ミニ展示、イベントを行うことを予定しており主な企画展示は以下のとおりです。

No.	期間	テーマ (仮称)
1	4～5月	本というかたち (歴史、造り方、装丁等)
2	6月又は2月	ファミリー連携展示
3	7～8月	戦後70年
4	9月	国勢調査
5	11月	没後50年の作家
6	12月	クリスマス

協議事項②資料

学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援：地域人材の活用について

学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

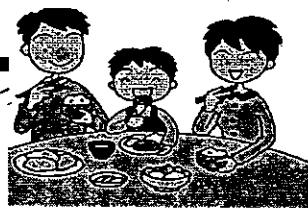
親の「学び合い」

家庭の教育力の向上

親子の「ふれあい」

- **とやま親学び推進事業**  
親学びプログラムの活用と普及
- **とやま親学び推進協議会設置事業**
  - ・親学び推進協議会の設置
  - ・推進リーダーの配置と養成
  - ・親学び講座の普及・啓発、推進
- **親学び企業内啓発講座(企業対象)**  
経済団体等と連携して、企業において家庭教育講座を開催(10講座開催)
  - ・企業内家庭教育講座への講師派遣
  - ・学習機会や情報提供
- **家庭教育支援ネットワーク推進事業**  
地域における家庭教育支援のネットワーク作りの推進
  - ・親学びデジタルコンテンツの作成
  - ・新版親学びノートの製作
  - ・メールマガジンの配信

- **子どもの読書活動推進事業**  
家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動の推進
  - ・子どもと本の講座開催
  - ・とやま元気ワールド・絵本ランドの開催
- **家庭教育総合相談事業**  
電話相談、メール相談、家庭教育カウンセリング  
子育てでネット!とやまホームページ
- **家庭教育かわら版事業**  
家庭教育情報紙「ほっとタイムス」を年2回発行  
各7万部
- **公民館親子で高志の国探検事業(再掲)**



地域の教育力の充実

- **公民館親子で高志の国探検事業**  
幼児から中学生を対象に、身近なふるさと学習や自然体験を推進

- **放課後子ども教室推進事業**  
小学校等を活用し、子どもたちの放課後や週末等の学習・体験・交流活動を推進

- **土曜学習推進事業**  
地域の人材・企業等の協力により、子どもたちにとって豊かで有意義な土曜日を実現



社会全体の「支え合い」

## ○ 生涯学習・文化財室所管事業の紹介

### 1 放課後子ども教室推進事業

放課後や週末等において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域住民等の参画により学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。

### 2 土曜学習推進事業

地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、体系的・継続的なプログラムを実施し、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。

### 3 公民館親子で高志の国体験事業

幼児から中学生を対象に、公民館による子どもたちの身近なふるさと学習や自然体験を推進し、地域ぐるみで心豊かな子供たちの育成を図るとともに、この事業をとおして地域全体で子どもたちの成長を支援する機運の醸成と体制づくりを推進する。

### 4 とやま親学び推進事業

家庭、地域、学校、行政が協力して「親を学び伝える学習プログラム」（以下、「親学び」）の活用を推進するため、教育委員会、PTA、学校関係者、学識経験者等、幅広い関係者で組織する「とやま親学び推進協議会」を設置し、課題や情報の共有化、家庭の教育力の向上に向けた推進方策等について協議を行う。また、県内各中学校区に「とやま親学び推進リーダー」を配置し、「親学び」を普及・啓発、推進する。

### 5 子ども読書活動の推進

富山県子どもの読書活動推進計画の4つの基本方針（1子どもの自主的な読書活動の推進、2家庭・地域・学校を通じた社会全体での取組みの推進、3子どもの読書活動を支える環境の整備、4子どもの読書活動に関する意義の普及）に基づき、関係者の密接な連携して、子供の読書活動を推進する。

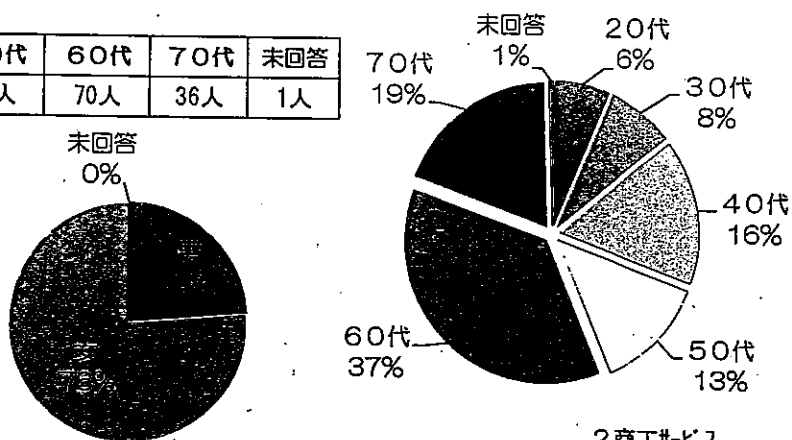


# 平成26年度 放課後子ども教室推進事業 評価アンケート集計結果

指導者 190 名の結果

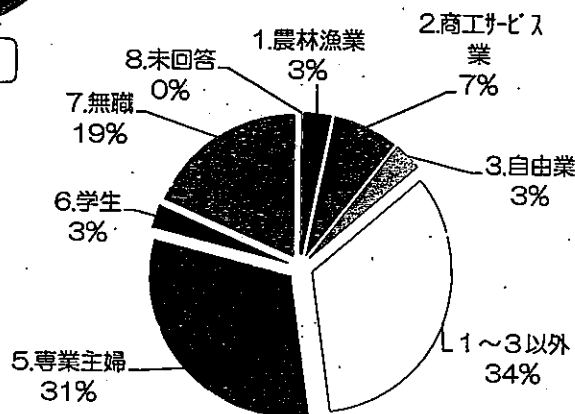
年齢：	20代	30代	40代	50代	60代	70代	未回答
	12人	15人	31人	25人	70人	36人	1人

性別：	男	女	未回答
	45人	145人	0人



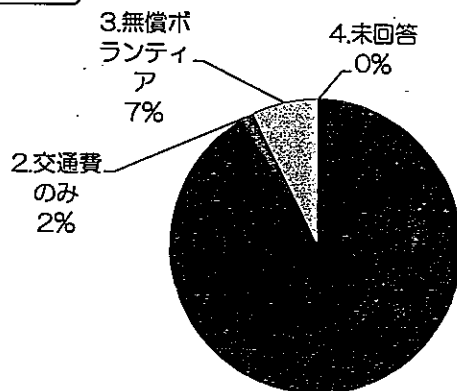
問1 あなたのご職業を次の中からお知らせください。

- 1 ■ 農林漁業の自営者・家族従業者 6人
- 2 ■ 商工サービス業の自営者・家族従業者 14人
- 3 ■ 自由業 6人
- 4 ■ 上記1～3以外の職業 65人
- 5 ■ 専業主婦 59人
- 6 ■ 学生 5人
- 7 ■ 無職 35人
- 8 ■ 未回答 0人



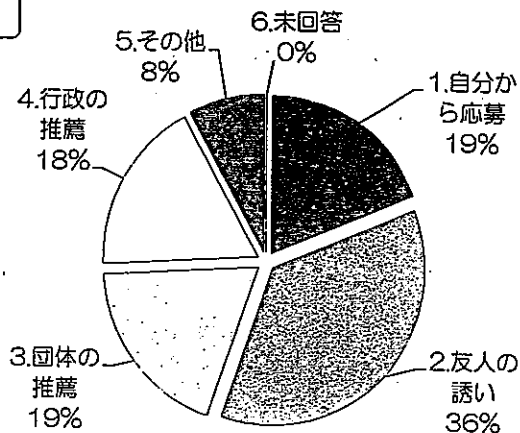
問2 放課後子ども教室ではどのような形で活動していますか。

- 1 ■ 報酬をもらっている（交通費を除く） 173人
- 2 ■ 交通費のみをもらっている 3人
- 3 ■ 無償ボランティアをしている 14人
- 4 ■ 未回答 0人



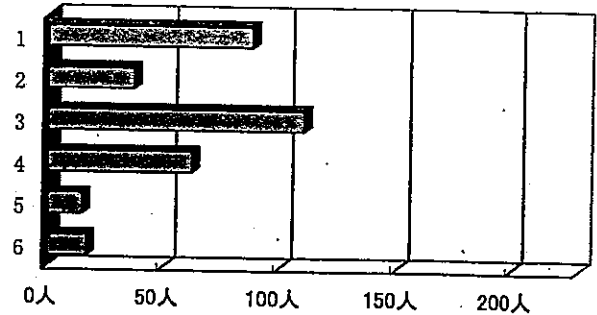
問3 放課後子ども教室に関わったきっかけは何ですか。

- 1 ■ 自分から応募した 36人
- 2 ■ 指導員をしている友人に誘われた 69人
- 3 ■ 自治会やPTAなどの団体に推薦された 36人
- 4 ■ 行政関係者に推薦された 34人
- 5 ■ その他 15人
- 6 ■ 未回答 0人

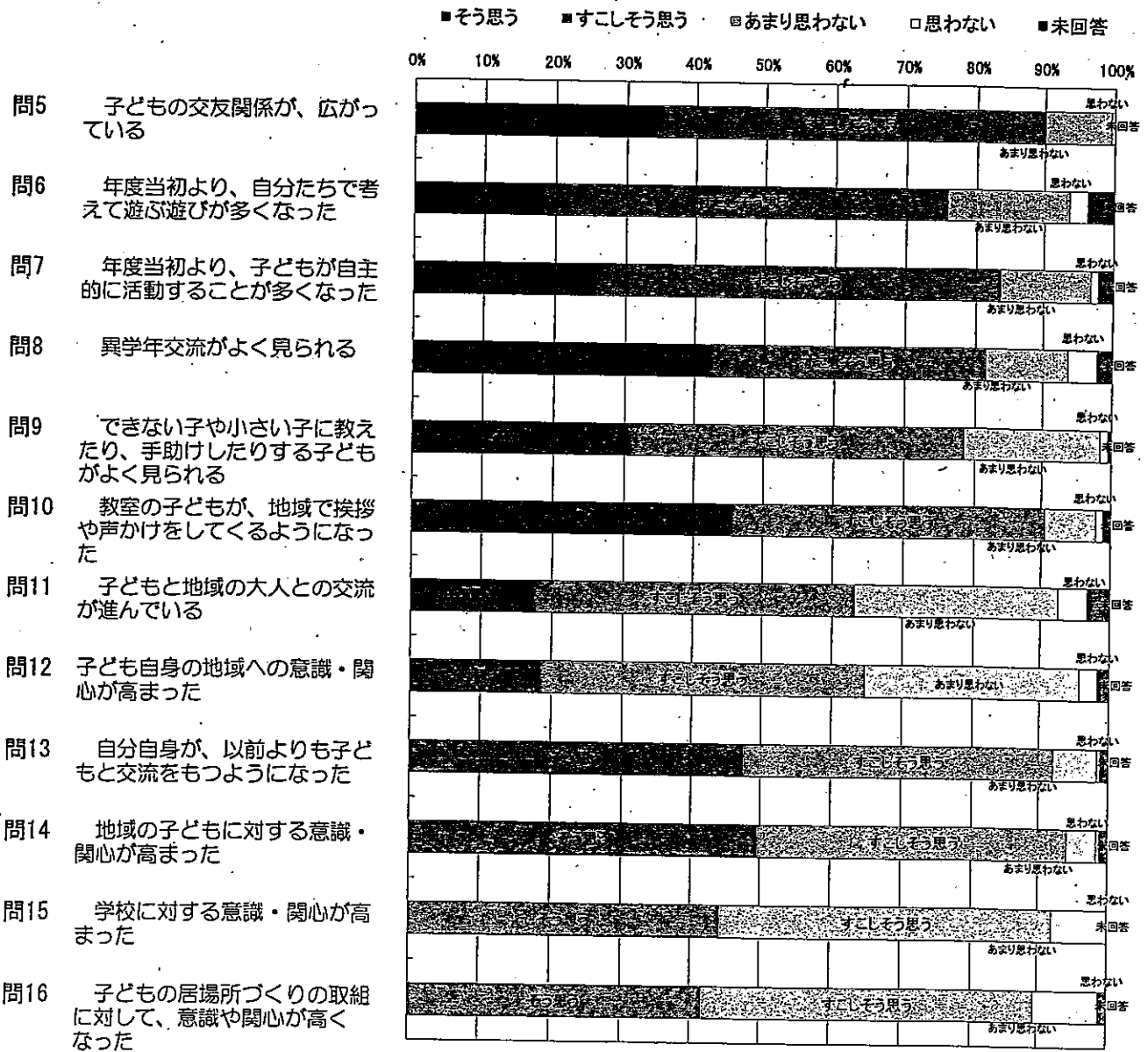


問4 今後、どのような教室にしていきたいですか。2つまで○をして下さい。

- 1 いろいろな体験活動をさせたい 88人
- 2 子どもが自由に遊べる遊び場としたい 37人
- 3 子どもが安心できる居場所としたい 110人
- 4 地域の大人と子どもが交流できる場としたい 62人
- 5 親子交流の場としたい 15人
- 6 その他 17人



教室に参加する子どもの様子で感じられたことや、あなた自身についてお伺いいたします。  
(あてはまる数字に○をしてください。)



放課後子ども教室の過去5か年(平成22～26年度)の登録児童数と指導者数の推移

<凡例>

生涯学習・文化財室

市町村名	児童数		教室数	児童数		教室数	児童数		教室数	児童数		教室数
	児童数	指導者数		児童数	指導者数		児童数	指導者数		児童数	指導者数	
	年度	H22		H23		H24		H25		H26		
1 高岡市	児童	1,220	28	944	28	845	26	894	26	960	30	
	指導者	113		95		94		232		247		
2 射水市	児童	1,072	16	962	15	1,069	15	973	15	962	20	
	指導者	200		196		219		205		200		
3 魚津市	児童	445	15	428	15	492	15	330	15	526	23	
	指導者	56		55		55		44		65		
4 氷見市	児童	399	10	389	10	369	10	359	10	384	13	
	指導者	99		114		94		102		33		
5 滑川市	児童	330	7	438	7	423	7	397	7	356	7	
	指導者	69		73		73		61		59		
6 黒部市	児童	151	7	166	7	167	8	226	10	182	9	
	指導者	188		170		182		199		158		
7 砺波市	児童	397	15	403	15	343	14	499	12	1,016	10	
	指導者	128		124		122		119		227		
8 小矢部市	児童	895	18	1,057	18	1,063	17	1,084	17	566	13	
	指導者	71		71		67		67		73		
9 南砺市	児童	280	11	254	11	234	10	287	11	372	11	
	指導者	101		114		106		94		56		
10 舟橋村	児童	84	1	70	1	58	1	55	1	55	1	
	指導者	3		4		2		14		12		
11 上市町	児童	536	15	526	15	362	15	441	15	358	15	
	指導者	102		74		42		45		90		
12 立山町	児童	347	8	206	7	334	8	277	8	270	8	
	指導者	75		41		52		52		52		
13 入善町	児童	156	3	138	3	141	3	70	2	118	3	
	指導者	27		27		27		18		70		
14 朝日町	児童	74	1	89	1	61	1	52	1	45	1	
	指導者	38		35		33		37		29		
14 市町村	児童	6,386	155	6,120	153	5,961	150	5,944	150	6,170	164	
	指導者	1,270		1,193		1,168		1,289		1,371		
15 富山市	延べ児童数	18,905	40	19,599	41	18,874	39	20,192	40	18,221	44	
	延べ指導者	3,015		2,872		2,677		2,680		2,474		

※指導者とは、コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターをいう。

※平成26年度は、土曜学習の教室を含む。(網掛けした実施市町は、子どもや指導者の重複あり)

# 公民館ふるさと事業における地域人材の活用状況

## 1 事業名別状況

年度	事業名	参加公民館数	延べ参加者数		
			子供	大人	合計
20	公民館わくわくどきどき自然体験事業	10市町村28館	2,473	1,915	4,388
21	公民館わくわくどきどき自然体験事業	13市町村48館	3,233	2,051	5,284
22	公民館子ども自然体験事業	14市町80館	11,011	7,515	18,526
23	公民館子どもふるさと自然体験事業	15市町村70館 および9地区	11,222	9,413	20,635
24	公民館親子ふるさと自然体験事業	15市町村連携145館	7,063	7,329	14,392
25	公民館親子ふるさと自然体験事業	15市町村131館	5,320	7,451	12,771
26	公民館親子で高志の国探検事業	15市町村128館			
			40,322	35,674	75,996

## 2 市町村別状況

市町村名	実施公民館数									実施回数							地域人	
	年度	20	21	22	23	24		25		26	20	21	22	23	24	25		26
						主	連携	主	連携									
富山市	6	10	17	11	5	12	4	10	4	14	20	22	66	42	17	20	13	○
高岡市	3	1	8	3	1	2	1	2	1	2	12	4	32	11	2	2	4	○
射水市	0	0	1	1	6	10	3	6	1	2	0	0	4	7	15	8	4	○
魚津市	4	4	12	8	4	9	2	5	1	2	9	7	38	32	14	4	2	○
氷見市	1	1	1	3	7	16	8	19	8	19	3	6	3	17	26	33	29	○
滑川市	1	2	1	1	2	4	1	6	1	2	1	2	4	5	6	3	3	○
黒部市	0	2	4	4	3	7	5	8	5	12	0	4	16	17	12	20	22	○
砺波市	6	5	6	5	6	22	6	22	6	22	20	11	20	23	23	22	24	○
小矢部市	0	5	5	5	3	8	2	4	3	8	0	10	19	25	16	12	12	○
南砺市	0	7	15	15	11	25	12	30	11	29	0	22	75	91	50	42	41	○
舟橋村	1	1	0	1	1	4	1	4	1	3	1	1	0	1	2	2	1	○
上市町	1	3	2	3	2	8	1	2	1	2	8	5	8	12	7	3	3	○
立山町	2	1	1	1	3	6	2	3	1	3	7	5	4	4	11	7	3	○
入善町	3	6	6	8	4	8	4	8	3	6	8	9	20	28	13	13	7	○
朝日町	0	0	1	1	2	4	1	2	1	2	0	0	4	3	3	3	1	○
合計	28	48	80	70	60	145	53	131	48	128	89	108	313	318	217	194	169	

## 3 主な活動

### 1 自然体験活動

- ・米作り・野菜栽培体験活動
- ・生き物・バードウォッチング調査活動
- ・星座観察・自然観察体験

### 2 歴史探検活動

- ・史跡巡り・先人学習

### 3 伝統文化体験活動

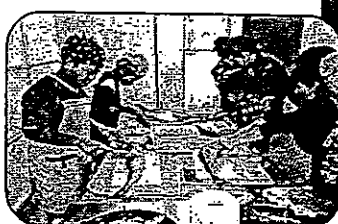
- ・盆踊り・夜高祭り・池田浄瑠璃・子供歌舞伎
- ・正月飾り作り

### 4 食育体験活動

- ・そば作り・お味噌づくり・魚調理体験

### 5 地域産業体験活動

- ・焼き物体験・ものづくり体験



## とやま親学び推進事業における地域人材の活用状況

### 1 とやま親学び推進リーダー

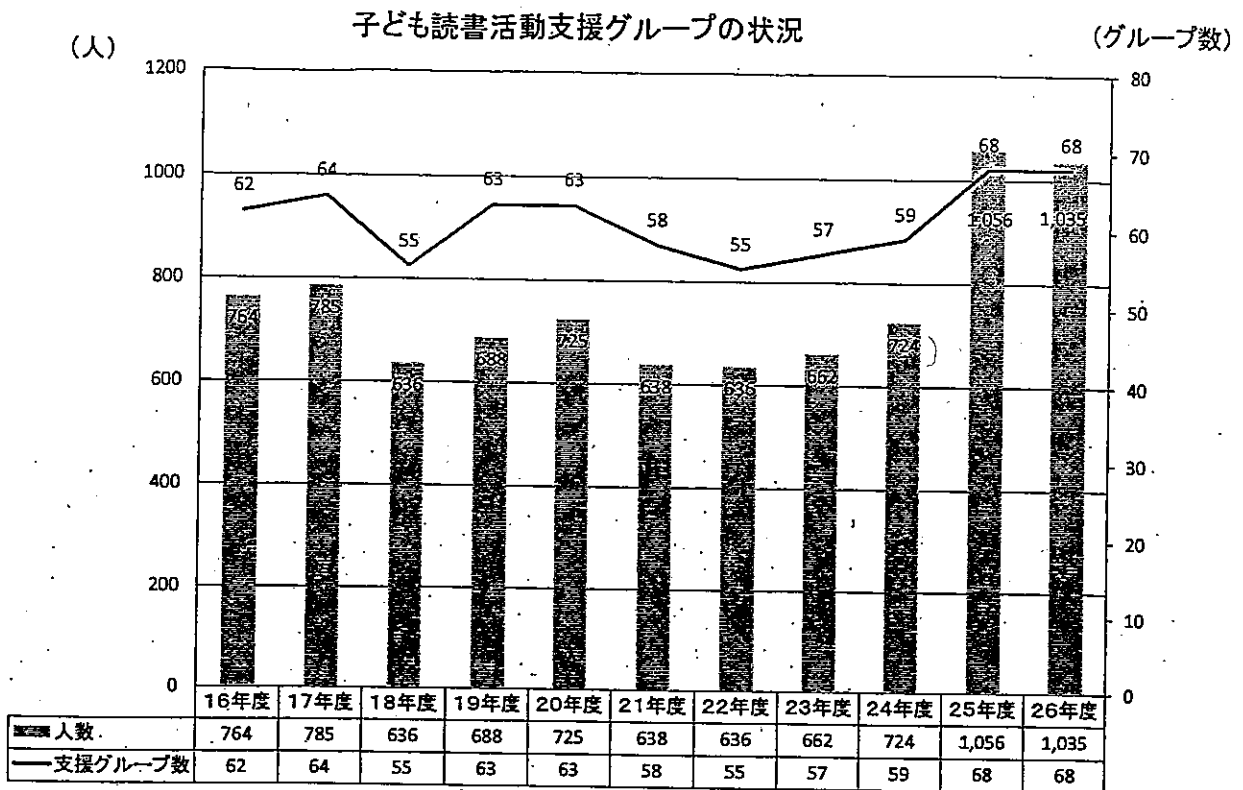
学校等での親学び講座の広報・コーディネート・運営、新たな進行役の発掘と指導等を行う。

年度	配置数	配置	所属等
平成 25年	93名	県内80中学校区	PTA役員52名、元PTA役員26名 家庭教育アドバイザー9名、元小学校長4名 主任児童委員1名、子育てサロン代表1名
26年	97名	県内80中学校区	PTA役員67名、元PTA役員20名 家庭教育アドバイザー4名、元小学校長3名 元幼稚園長1名、主任児童委員1名 子育てサロン代表1名

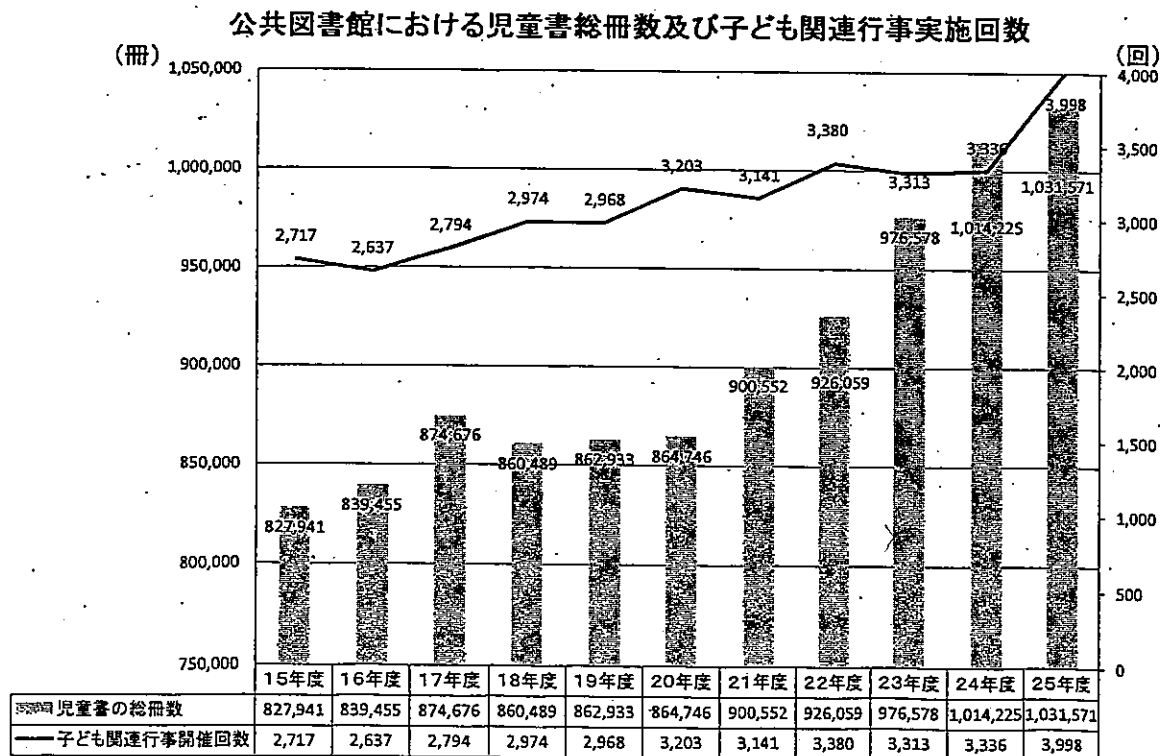
### 2 家庭教育支援人材の養成

年度	講座名称	講座日数等	受講者数
平成 14年	富山県家庭教育アドバイザー養成講座	5日間20講座	56名
15年	富山県家庭教育アドバイザー養成講座	5日間20講座	50名
16年	富山県家庭教育アドバイザー養成講座	5日間20講座	50名
17年	富山県家庭教育アドバイザー養成講座	5日間20講座	49名
18年	「親を学び伝えるプログラム」を活用した子育てサポーターリーダー養成講座	2日間6講座	80名
19年	子育てサポーターリーダー養成講座	2日間7講座	のべ 100名
20年	子育てサポーター研修会	2日間7講座	77名
21年	小中学校の保護者対象指導者養成研修会	全体研修3日 ブロック5日	のべ 404名
22年	富山県家庭教育アドバイザー養成講座 (親学びに関する指導者養成講座)	5日間20講座	142名
23年	親学び指導者養成講座	2日間8講座	88名
24年	なし		
25年	とやま親学び推進リーダー養成講座	全体研修半日 ブロック半日	のべ 158名
26年	とやま親学び推進リーダー養成講座	3日間 8講座	のべ 179名

# 子ども読書活動推進にかかる人材活用について



(最新の数値は平成26年7月現在 富山県読書会連絡協議会調べ)



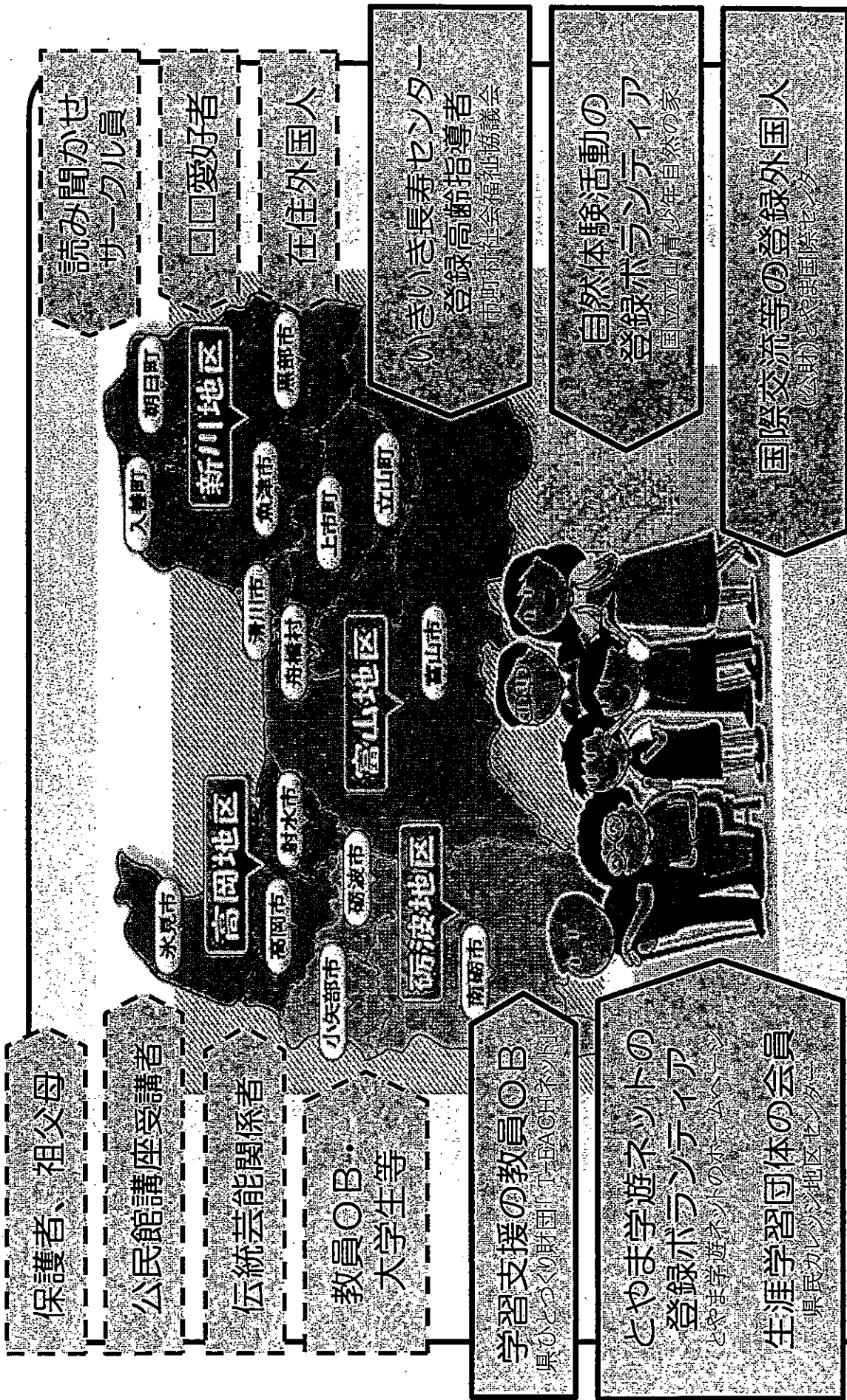
(最新の数値は平成25年度末現在及び25年度実績 富山県立図書館調べ)

子ども関連行事 主な活動  
絵本・紙芝居の読み聞かせ会、保育所・学級招待、折り紙教室、スタンプラリー等

## 子どもと本の講座(年2回開催)

- 趣旨 子どもの読書活動についてより深い認識を持ち、活動に役立ててもらう。
- 主催 富山県立図書館(富山県読書会連絡協議会、富山県図書館協会共催)
- 対象者 公共図書館員、読み聞かせボランティアグループ、学校図書館司書など

地域人材の活用について（学校、家庭、地域で取り組む子どもたちの成長支援 資料）



<エリア> 校区から、市町村内から、近隣市町村から、県全域から探す。